京城日報
（年中無休刊）
本紙定價　每號一部金四錢▲郵稅金五錢　壹ケ月郵稅前金壹圓五錢▲三ケ月同三圓▲六ケ月同六圓▲一ケ年郵券代用十割增
廣告料　五號十四字詰一行一圓五十錢同二號二圓▲三號七字詰同二圓▲四號九字詰同二圓八十錢▲六號十六字詰全一圓五十錢
發行兼編輯人　奥田道毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　長六千九番　長六千九二番　振替京城三〇〇番

十月七日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

匈現内閣不承認
聯合國代表者聲明

ブダペスト來電＝聯合國代表者は匈牙利首相フリードリッヒ氏と會見し現內閣承認の不可能なるを說き聯合國は飽く迄フリードリッヒ政府に反對の態度に出づべき旨聲言せり（香港電報）

伯林騷擾益擴大

伯林の同盟罷業騷擾は益々擴大し警官が罷業者に向つて發砲したる爲め死者一名負傷者十名を出し又煽動者十七名逮捕せられたり而して今や一部にては現政府を轉覆し各政黨を打て一團となし秩序ある政府を組織すべき時期來れりと叫びつゝあり（倫敦電報）

政府仲裁案拒絕

公報に依れば鐵道從業員組合は政府仲裁案並に政府の提議せる七日間の罷業中止案を拒絕せり（倫敦電報）

倫敦市廳の火災

一日夜半ウエストミンスターの新倫敦市廳は火災に罹れり（倫敦電報）

邦人土地所有禁止提案

米國上院議員イヤン氏は日本人の土地所有及び借地を絕對に禁止すべく布哇土地法修正案を議會に提出すべく發表せり（香港電報）

兩條約關係如何
國際聯盟と日英同盟條約　樞密院より外務省に質問

外務省より樞密院に廻附したる講和條約は同院委員會に於て調査中なるが最近に至り該委員會は外務省に對し左の諸件に就て重要なる質問を提起したり

一、日英同盟條約の精神と國際聯盟との關係如何。同條約の精神或は其一部が聯盟條約の條項に抵觸することなきか若し抵觸するものありとすれば政府は如何なる方策を取らんとするか
二、國際聯盟條約第十條の說明
三、國際聯盟條約と憲法との關係
四、軍備制限問題

右の中最も重大視すべきものは日英同盟條約に關する件にして政府は具體的に此の問題に關する所信を開陳せざるべからざるに至りたるものなれば外務省に於ては專ら此の問題に關し連日に亘りて協議を爲し居れるが同盟條約の精神とは抵觸すること無しとの見解を有するもの、如くなるも一二條項は抵觸を免れざるべく此の點に關し外務省にては最も苦心しつゝありと傳へらる（東京電報）

紡績の使用せる燃料炭價

◎世界的石炭の不足に燃料問題の喧騷せらるゝ折柄工業界の大宗と呼ばるゝ紡績會社の消費燃料炭の如何を示さんに全國四十有五會社の紡績會社最近の調査なる本年七月中の月額石炭消費高一億二千百廿七萬一千三百五十八封度にて前月に比し八百七十五封度にて前期に比し八百七十五萬五千四百四封度の減少なるが前年同期に比すれば六百七十八萬九千六二封度を增加せり

◎使用石炭價格は各社平均して洋一萬斤百圓三十七錢なるが前月に比し二圓六十錢の昂騰にて更に前年同期に比すれば十六圓八十五錢の騰貴なるが各社使用の實馬力數は六萬三千九百七馬力にて石炭燃料以外の動力は水力、電力、瓦斯力を使用せる總馬力數は三萬五千五百四十三馬力なり

◎佐賀紡績の如きは洋一萬斤を僅々四十七圓六十四錢に購入せりと報ぜらるゝは歐亂勃發當時に於て未だ炭價の暴騰せざりし際に於て賣買契約をなせしものならんが最も高價なる炭價を支拂ひ居れるは四日市紡績の三百廿圓にて今三大紡績會社なる鐘紡は六十七圓八十七錢の炭價を示し東洋紡は七十九圓八十一錢にて大日本紡は八十六圓二十七錢なりと何れも洋一萬斤の炭價を示せり

◎先物賣買には一種獨特の技能を有して原料棉花の如きは一年以後の先物を購入し製產棉絲の如きは遠く二ケ年後の先約をも爲せる紡績會社なれば前途の思惑賣買に妙を得居れるは使用石炭の如きも騰貴激甚ならざる以前に買約定なして時價より五割內外の安値に仕込み居れるは各紡績會社資產の豐富なるにも依らんが紡績會社の生產費は敢て原料と云はず勞銀と云はず一般標準値段より遙かに低率にして製產品賣價は割高なるに然も競ふて買進まるゝは本邦紡績會社の純益多大なるも當然と云ふべし（大阪より）

旱害對策
東拓の施設　松平理事の談

東洋拓殖會社の朝鮮旱害對策は夙に調査を行ひゐたるも總督府の方針決定を俟つ必要あり成案を得るに至らざりしが最近總督府の旱害對策發表を見たるにつき會社の對策も決定徐々に實行をなす事となれりその要點は政府の方針と大體變らず乃ち

その概略を述ぶれば、

(一)旱害の程度により檢見の結果小作料の輕減並に免除を行ふ事但し免除は收穫皆無地に限るべきは勿論なり(二)總督府に出願中の干潟地開墾並に水利事業等の許可を得次第成るべく速かに工事を行ひ勞銀の撒布を企つる事(三)社有地の諸工事を此際實施する事(四)食料品不足の地方にある小作人には小作人にて貸附の方法を執る事(五)旱害救濟を目的とする資金は一般に對し成るべく低利に便宜に貸附を行ふ事大體以上の如きが目下の所救濟を直ちに必要とする地方は少き模樣なると直ちに救濟の必要もなしと考ふるにつき結局その時期は本年十二月以降となるべし

御見舞下賜
國分次官邸へ

國分李王職次官母堂逝去に就き喪中御尋ねとして　天皇陛下より御菓子一折御下賜の御沙汰ありたるを以て六日廣波通譯官は同邸に赴き　聖旨を傳達したり

畜產技術官會同 ＝第五日＝

道畜產技術官會議第五日は洗浦牧場見學の豫定なるを以て七日午前七時五分南大門發野口名倉兩技師東道の下に一行十五名は洗浦に赴きたるが同地に於て更に細羊獎勵事務に關する打合せを爲し八日同地に於て解散の筈なり

政務總監登廳

過日來微恙の爲引籠中なりし水野政務總監は病氣快癒七日より登廳事務を執りたり

最近の鮮鐵 滯貨激增
出廻り漸く多し

最近鮮鐵の滯貨狀況を聞くに例年十月より一月にかけ滯貨噸數は漸次增加するを例とするが本年は例年の順調に比し頗る激增の狀況にあり右の原因は穀類を始め木炭石炭等の出廻り漸く多く殊に石炭は內地炭の輸入增加せる結果にして今後益々滯貨噸數を加ふるに至るべし九月末日調査に依る滯貨總噸數は京釜線二萬七千四百噸京義線七萬七千四百六十一噸湖南線千七百五十五噸京元線五千三百七十四噸總計十一萬二千五噸にして是を前月の十萬九千九百五十九噸に比するに二千十六噸を增加したる譯なり前月より滯貨噸數の增加せる重なるものは麥大豆豆粕鹽木炭石炭杭木等にして減少せるものは米雜穀粟薪木材鑛石等なり即ち左の如し

品目	京釜線	京義線	湖南線	京元線	總計	前月
米	一八〇七	一六二九	七七〇	一五三	四三三九	四五二七
麥	四五	九五〇	…	二三	一〇一八	七〇三
大豆	一三三	…	…	二三	九四七	八四七
豆粕	一二	一一四四	…	…	一一五六	七八〇
雜穀	七四三	二四五四	…	二八	三二二五	四四六一
粟	五三五	四四二七	…	…	四九六四	五三七五
鹽	五八八一	一六三八一	二六九	二〇	二三五五一	二〇〇〇〇
木炭	一六	一九二七	四〇	五二八	二五四二	二〇二二
薪	七〇	五六五	一〇	七三	一四六	一五四
石炭	一五〇三一	一二〇二四	一〇四	…	一七一六五	一五四九〇
木材	一三四七	二三〇七七	一六九	二八八三	二七三七六	二七七九四
杭木	二三〇	八七三	…	五四	一一五七	五八八
鑛石	一五六	九〇六	…	二六	一〇八八	一六七八

京城金融狀況

期せずして一致したる金融緊縮は思惑者流に少からず痛擊を與へたるものと思しく第一に綿布商側の恐慌を惹起して破綻者の續出を見んとするの狀勢なりしが幸ひにも當業者側自衞の必要より之が防遏救濟の目的にて共濟會の成立を見るに至りたれば此方面一應緩和せしが如きも過般來各種の思惑が產み出したる惡果の市場に偏在せるもの亦勘からざるべしとの懸念は銀行側に於て資金漸く潤澤の模樣なるにも拘らず尙警戒の念を去る能はざるもの、如く金融は底意强硬の姿なり

平壤と鮮銀
新市街に派出所

平壤に於ける朝鮮銀行支店は大同門通りの朝鮮人街にあり內地人中心地を去る事遠きを以て內地人街の取引者中不便を訴ゆるもの少からざると平壤內地人街近來の發展は注目に値するものあるより最近同地本町の中村組事務所を買收して平壤支店派出所を開設する事となりたるが右開店期は中村組の移轉その他の都合上明年に入るべきかと

紐育鮮銀開期

朝鮮銀行の紐育出張所新設は過般米國政府より公式の承認を經たるにつき同行にて目下開店準備中なるが十一月一日より開店の事に確定し居れりと

鮮書記長會議

七日午前十一時より京城商業會議所に於て全鮮商業會議所書記長會議を開き各商業會議所より提出に係る共通類似の議案に付き配合按排方に就き協議する所ありたり

定例局部長會議

七日午前十時より總督府第一會議室に定例局部長會議を開き齋藤總督水野政務總監を始め各部局長並所屬官署長參集諸般の政務に就き審議する處ありたり

鮮鐵運賃取扱改正
十一月十五日より實施　總督府鐵道部當局者談

十一月十五日以降實施せらるべき滿鐵運賃改正に依り朝鮮線の取扱ひ改正に關しては屢報せる如く旅客運賃並に生活必需品を除き低率の引上を認め同時に取扱ひの一部を改正する事となれるが右に就き總督府鐵道部當局の說明に曰く今回の改正は滿洲線と朝鮮線との取扱ひ上の統一及び近時諸物價昂騰の爲め鐵道營業上の

收支均衡を

保たしめんが爲めに外ならざると運賃引上に關しては現在朝鮮に於ける民度を考慮し特に旅客及び生活必需品等は此際運賃の引上を爲さしめず貨物に於て平均二割の引上を認めたり之が爲め全體の貨車收入に於て約二百萬圓の增收を圖る事を得る見込なり而して(一)改正運賃は概して短距離に低廉にして遠距離に割高となり(二)生活必需品と稱するは食料品及び燃料を云ひ米、麥、粟、野菜、鹽、味噌、醬油、薪炭、鹽干魚、魚類、石炭に限り之と同時に從來

穀類運賃半減の特定運賃は之を廢止する事

となれり(三)扱別の改正は從來朝鮮鐵道は斤、噸、車の三種に就き取扱ひを爲し來りしが之を滿洲線及び院線と同樣

噸扱を廢止し

斤扱、車扱の二種に改めたり而して小口扱ひの貨物は現行の斤扱ひに比し殆ど變化なく車扱ひは百哩以上に於て多少從來より割高なり(四)又輕量品高價品は一立方尺を十斤の割合として運賃を算出する事とし之亦滿洲線と取扱ひを一致せしめたり(五)又現在に於ては最低運賃の規定なきも改正に依り

最低運賃制を設け

運送里程廿哩に滿たざる時は二十哩分の運賃を收受する事とせり但し前記日用必需品に限り

最低運賃は

十哩以內とせり(六)貨物等級の呼稱現行の四、三、二、一級品を反對に一、二、三、四級品と改稱し滿洲線の呼稱と一致せしめ(七)其他現在に於て新義州、安東間は諸種の關係より特に高率(一般賃金に比し約十割高)なる賃金を設けられたるも之を廢止し里程に從ひ一般賃率に依り計算する事となれり(八)又海港特定運賃は二百六十哩以上を一般賃率に之以下を一錢五厘と改正せられたるが米、麥、粟等に就ては割引特定運賃を以て扱はれ短距離は高率に遠距離は低廉なく唯大豆等に於て多少の不利益ありと

仁川期米活躍
內地高に暴騰

內地米作の豫想は六千九十七萬石と實に稀有の大豐作を示せしも然も東京大阪の定期は豐作に氣の裏道を辿りて却つて新高値に昂進せるが之れ如何に數字が大なりとて果して懷に入る迄は安心出來ずと云ふが今日の心裡にして百萬石を掩藏せりと云ふ政府すら尙ほ買ひ漁りの態を示せるに於ては富有なる農家が之れを學ぶは當然なりと云はゞ政府は農家に對し賣り惜みの標本を示せると同一の結果に外ならざる如し仁川期米も仕手の關係にて五日の寄附に於ては大阪の騰値々百丁以內に狹りたる爲めか地場の氣配は然も買氣の熾然は後場に至つて四十一圓八十錢と百丁方の暴騰を來したるも內地期米はその後益々強調なるより七日前場は四十二圓二十九錢を寄附高値として一圓八十九錢安值二圓七錢に打止めたるが七日前場の高値を前日の安值に比すれば百四十丁の暴騰を來し居れり然も目先の騰落は內地次第にて俄に逆睹し難き如し

浦鹽電信狀態

浦鹽に於ける電信は發受信共に混雜を來し發電前後し又は來電の不着せるものもありとのことなるが右は浦鹽より內地に對する電信は一般に於て用ふるものは長崎經由ケーブル線及び朝鮮經由の二線なるが而してケーブルに依るものは其の料金割安なるも往々にして故障を生じ易く朝鮮經由線は所要時間長けれども故障少く割合に正確なれども朝鮮經由線は所要時間長く且ケーブル線に比し不正確を免れずと云ふ即ち朝鮮經由線は東京大阪方面に對する所要時間普通二十四時間乃至四十八時間を要すれども ケーブル線は普通二十時間內外なりと云ふ右の狀態なるを以て京城より浦鹽への返電を得る迄に少くも三日を內地よりは四日乃至五日を要するなりと

南大門驛改築

南大門驛京城管理局の管掌せる南大門驛改築工事は其後附近の道路修理家屋立退き等のため意外の日時を要し居る模樣なるが目下の狀態にては來春早々建築工事に着手するを得べく而して竣工期は多分大正十一年度にて總費額は四十萬圓見當なりと

家屋稅督促

京城府に於ける第二期分家屋稅の徵收成績を聞くに調定額二萬七千九百三十圓人員二萬二千四百九十八人に對し納期末日迄に府金庫及び郵便局所に納入せる人員一萬五千百七十一人金額一萬九千三百四十圓にして此の收入步合人員に於て六割七分四厘金額に於て六割九分二厘なり其後十月に入り每日平々二三百人の納入あるも府は目下督促狀發付の準備に着手しありて遲くも十月十二日迄には發付するに至るべしと

京畿道告示

十月三日付京畿道告示を以て京城府惠化洞獨逸人聖芬多修士院大院長ボニバシウスザウエルに屬する係、合計六十七件建物十四件は大正八年勅令第三百四號第一條に依り大正八年九月二十三日より之を京畿道に於て管理する旨命令せり

佛國大使消息

既報の如く六日北京を出發したる本邦駐劄佛國大使バプスト氏並家族一行は九日夜入城朝鮮ホテルに二日間滯在の上十一日朝退城內地に向ふべし

潛水艦講演

八日午前十時より總督府第二會議室に於て府職員の爲め左記演題の下に七日入仁の潛水艦長並に矢持艦隊參謀の講演ある筈

一、潛水艦に就て　潛水艦長
一、歐洲戰亂に於ける帝國海軍の作戰行動　矢持參謀

尙同樣の趣旨の下に八日午後四時より南山京城高等女學校に於て教育確定會主催の下に同一演題の下に講演會を擧行すべく一般の來聽を希望すと

財界閑話

物價は天井知らずの有樣で奔騰し生活難の聲は隨分喧しい▲然し乍ら市中の景氣は存外上乘で舶來品服類などの値の高い優良品が男女物とも驚ろく程よく賣れるさうだ▲物價高で苦しい者のあるのは僅か事實、と同時に物價は高くても景氣の好いのを喜んでゐる連中の少なからぬのも些かな事實らしい▲一流の料亭など大繁昌、旭町一丁目の某樓の如き午後八時頃になると滿員につきお斷りなどゝ門柱に掲示をしてゐるのが珍らしくない▲それでも押しかけて行つて女中部屋だつて構はないと頑張るのもあるさうで中には世の中も面白く成つて來たなど言ふ者もあるとかで此頃料理屋の客筋は商人が第一で次に會社銀行員と云ふ順序、役人などは極めて少ない▲商賈の利益は非常な好景氣の結果商人や會社員の懷ろが好いからだと云つてゐる者もある▲結局政府の施設が頻りに藥罐草の買占めをやつてゐる者もある▲價格上昇を見越してゐる者らしいが左樣な手に乘るものぢやない今にそんな奴に鼻をあかさすよと財務局の某當局は曰つてゐた

出張命令

總督府技師　綾田豐
慶尚南道管內へ出張を命す（豫定二十二日間）
同　野口次郎三
江原道管內へ出張を命す（豫定五日）
同　名倉勝
江原道管內へ出張を命す（同）
總督府御用掛 陸軍大佐　東條明次
仁川へ出張を命す（二日間）

◎朝鮮物產貿易の增資　從來の資本金十萬圓を五十萬圓に增資し業務を擴張せんとする朝鮮物產貿易株式會社（本店京城）資本額變更の件は豫て出願中の所十月四日附許可の指令ありたり

人事消息

▲バラツー氏（吉林駐在露國領事）七日朝釜山上陸釜山露國領事館に滯在（釜山特電）

▲遠藤柳作氏（東京府事務官）滯京中なりしが六日午後四時より朝鮮ホテルに於て開催の總督府有志の送別會招待に應じたる後七時五十分南大門驛發歸東の途に就きたり
▲持地遞信局長　南山町池田病院入院中七日退院したり
▲守屋源二郎氏（茨城縣內務部長）滿洲衞生課長兼敎育課長より轉任赴任の途七日朝來城朝鮮ホテルに一泊八日朝發內地へ
▲奧田少將（龍山旅團長）足立副官を從へ八日朝發忠州へ
▲松岡時敏氏（朝鮮京城）今回大阪に開會さる可き府縣參事會議列席の爲め七日夜南大門驛發上阪す

其の日その日

◇英國鐵道罷業は、全英國の產業を麻痺せしめ、同國經濟界は未曾有の大動搖を來せしも、流石に國民の其冷靜を失はざるは、見上げたる態度也。而も一方國內の自由に干涉せんとする罷業者の企圖に對抗する政府を後援して、旺盛なる精神を披瀝しつゝあり。今に始めぬ事ながら英國輿論の聰明健全は、何時もながら實に感服に價す。洵に立憲政治の本場たるを失はず。ジョンブル氣質の强味ある、蓋し是が爲め也。

◇西伯利撤兵問題　除日米一律撤退は餘計なお世話にて、米兵の撤退は御勝手也。而も乍ら米國の提議は、豫め英佛伊三國に對しては、其諒解を求めたるべく、提議の根據は、頗る深きものあるは察するに難からず、問題は既に重大の意義を藏すること、推して知るべき也。然れども二百餘名が、西伯利人と共に彼のステーブンス一行の豫想に反し、其抱負を施すに、困難なるを知るや、多大の犧牲と共に矢の如き熱心に加ふるに、米政府も依然西伯利を稱して除しつゝ、あるより、其れがこそ今回の提議として現はれたるの觀無きにしもあらず。之れを一言に申せば、不逞の口實に過ぎず。吾人は不可の一語を以てせば可也。

◇社會は日に月に複雜となる問題は小石の如く飛び出せり、特に吾人は來るべき國議會が、如何に活氣を呈するかを今より想像せば、坐ろ興味の盡くるを知らざる也。內地の議員の選擧も漸く終り、政友會は愈々全國に堅固なる根據を築けり。而して來議會に臨む陣立も、之より計畫せらるゝこと。來議會の問題としては、稅制整理と、物價問題、普通選擧問題にて、先づ火の手は上るべく、憲政會が若し普通選擧案を提げて猛進せば、政府は直ちに問題に對して、其態度不親切なるを以て、議會は解散されんが、政府が物價に因るならんか、貴族院は政友會に組するやも知れず、更に稅制整理にして杜撰ならんか、政友會內亦亂れん。國民は更に刮目して議會に對すべき也。

最新淋病藥
ゴノクロール
純國產にして品質効力輸入藥に勝る
從來內服藥に於て醫界に疑問とせられたる淋菌殺滅力が本品に確實に具有することは楠醫學博士の實驗により保證せらる
關西代理店　大阪市東區道修町二丁目　藤澤友吉商店
關東代理店　東京市日本橋區本町四丁目　藤澤友吉支店
中央製藥合資會社製品

パイン万年筆
京城日報代理部

大鐙閣發行重版書目
東京　大阪　大鐙閣

書名	著者	定價	書名	著者	定價
二宮尊德	渡邊霞亭	一、五〇	高杉晉作	同	[illegible]
渡邊華山	同	一、五〇	熊澤蕃山	同	[illegible]
吉田松陰	同	一、五〇	實錄仙臺萩	同	[illegible]
大石內藏助	同	一、五〇	天野屋利兵衞	同	[illegible]
乃木大將	同	一、五〇	女忠臣藏	同	[illegible]
錢屋五兵衞	同	一、五〇	不破數右衞門	同	[illegible]
荒木又右衞門	同	一、五〇	堀部安兵衞	同	[illegible]
乳人政岡	同	一、五〇	木村長門守	同	[illegible]
山中鹿之助	同	一、五〇	後藤又兵衞	同	[illegible]
水戶黃門（前、中、後）	同	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
幡隨院長兵衞	同	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日蓮聖人	同	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
親鸞聖人	同	一、六〇	[illegible]	我	[illegible]
[illegible]びらき	同	九〇	光秀の妻	同	[illegible]
楠正成	渡邊霞亭	一、七〇	小三金五郎	同	[illegible]
獨逸膨脹史論	早大教授	二、九〇	戰後の經濟策	法學博士	[illegible]
希臘紀行	文學博士	二、七〇	修養百話	加藤咄堂	[illegible]
無盡の實際と學說	池田龍藏	一、七〇	日本風俗志（上中下）	同	[illegible]
碧巖錄詳解	井上秀夫	二、五〇	浮世百態觀	同	[illegible]
聖訓要義	本多日生	一、五〇	マンダヴィル東洋旅行記	文學士	[illegible]
聖語錄	同	二、二〇	神道沿革史論	文學士 清原貞雄	[illegible]
東洋文明の權威	同	一、八〇	英文史劇 楠公父子	水戶部	[illegible]
日蓮主義初步	同	・七〇	閥族罪惡史	細井肇	[illegible]
支那佛教遺物	文學博士 松本文三郎	二、六〇	人生の迷路に立ちて	[illegible]	[illegible]
掌中山水（上中下）	文學博士 幸田露伴	各冊一、八〇	人生哲學茶話	高橋五郎	[illegible]
日本史傳文選（前）	同	二、二〇	心靈哲學の現狀	同	[illegible]
生命と性慾	理學士 川村多實二	一、六〇	東西偉人 臨終語錄	同	[illegible]
實際的家禽全書	相田良太郎	一、九〇	獵人日記	戶川秋骨	[illegible]
四季の料理	赤堀料理 第一	八〇	獨步集	國木田獨步	[illegible]
每日の惣菜	同 第二	八〇	第二獨步集	同	[illegible]
米式相場高低の原理と賣買法	吉原宮三郎	一、八〇	武藏野	同	[illegible]
相場秘訣と通語解	同	一、六〇	渚	同	[illegible]
玉突秘訣	愛球會	一、七〇	濤聲	同	[illegible]
ポケット 玉突全書	同	一、五〇	非凡人	同	[illegible]
ポケット 玉突術	玉乃一熊	七〇	詩集 地の子	富田砕花	[illegible]
ポケットブック 撞球秘訣	同	一、〇〇	ホイットマン詩集 草の葉	同	[illegible]
賣られ行く女	上村行彰	一、五〇	俳句と小學教話	森脇	[illegible]
			趣味の名所案內	森永規六	[illegible]

國境横斷旅行（九）
（鏡城から惠山鎭へ）

茂山郡の人口は一方里に八十六人
茂山の街も寂しい
偉大なる計數を示して居るのは林產物だけだ

茂山にて　特派員　伊藤韓堂

茂山郡々勢一覽に本郡の面積三百九十九方里七三五とあるから四百方里と見た方が早い

一郡四百方里

とは隨分廣いものだ而も住民は昨年末に五千八百四十三戸、三萬四千七百四十三名であるから一方里の平均は十六戸、八十六名にしか當らず此內內地人は九十一戸百九十六名で支那人は二戸六名を交ふるに過ぎぬ。邑內は合計二千六百九十八名で內地人はタッタ九十七名である。之れでは茂山の街の寂しいのも無理はない。郡內人口の九割迄は農民であるが米は少しも穫れぬ。麥二千石、大豆三千九百石、粟一萬六千八百石、燕麥二萬千餘石、馬鈴薯二百八十萬貫位である。主なる食料は

燕麥と馬鈴薯

で飯にも副食物にも此の二つである。近年郡廳では副業を獎勵し馬鈴薯をスリ潰して澱粉を製造させて居る昨年の產額は一萬五千四百貫、此の金額六千八百餘圓である。面積の大部分が森林地帶であるだけに樹皮の利用が盛んで就中樺の皮は屋根を葺き又北靑地方に移出して漁網用に供給して居る。郡廳では營林廠とも相談し地方民保護の意味に於いて各洞契に拂下げを受けさせ採取して共同販賣を行ひつゝあるが

昨年は一萬斤

內外に過ぎなかつた價格は咸南新昌方面に於いて百斤十圓二三十錢である。又藥草は中井博士や石戶谷技手の調査によると其の種類の多いとが分るが、今日事實に於いて採取されて農民の副收入を爲しつゝあるのは黃草だけで六年度一萬八千餘斤、七年度八千七百斤の採取があり今年は採取地に於いて一斤三十五錢位で販賣されて居る。之れは主として

咸興鏡城方面

に移出されるので又近來有名になつたチュルチュックも本郡の特產物で三社面三長面には無盡藏と稱せられて居る。宗敎は殆んど無宗敎の狀態で郡廳の調査によると耶蘇敎は敎會一、布敎者一、信徒內鮮人十五名とある。佛敎、天道敎、侍天敎も殆ど信徒がない赤十字社員十三名、愛國婦人會員二十名と云ふ貧弱な有限で總ての計數が幼稚である。ただ

偉大なる計數

を示すものは材木だけで、此の茂山郡から材木を除き林產物を除いたら、あとは何にもないものになる。夫も今寧から茂山郡に來た許りの記者にはまだ樣子が分らないが來邑の途々樹皮を應用した石ッコロ屋根を見て、成程森林地帶だナーと思はれた。

メスの切味を
鮮民福利の爲めに淚を呑んで荒療治
高等警察課長　白上祐吉氏談

爆彈事件の犯人は捕まつたが之れで事件が段落を告げたと云ふ譯でない、爆彈を投げた黨の犯人以外に連累もあらうし假令連累共犯でないまでも同樣の謬つた思想を抱く不逞の鮮人があるのは隱れない事實だから其謬つた思想の傳播を防ぎ

不逞の徒

輩が不穩の動作を爲すのを取締り一般良民を保護するのは吾々の役目だ吾々が少しく嚴格に取締を勵行すると鮮人の一部からは或は猜疑の眼を以て見るかも知れぬが不逞漢の取締を峻嚴にするのは良民の却つて歡迎すべき事ではあるまいか

近頃京城

でも戸を鎖して商賣を休みかけた事件もあるが忽ち復舊した、警察官の實地敎練とか臨時點檢とか非常警戒とか樣々な試みをして居るが之は試みばかりではなく將來に起らう一層訓練を經て實用的に資あるものとし

萬一不時

の場合に適應し得るやう不斷の準備を整へて居く事だ。現在の如く鮮人の一部に不逞分子の存在して居るのは人體に性の惡い腫物の出來たやうなもので疾く大手術を施し切開して了はなければ遂に病毒は全身に及ぶ、僕等は

淚を呑で

外科醫の任務に服する覺悟だ、今後で銳利なメスの切味を示すのは他日鮮人一般から悅ばれる前提に外ならない、現在でも有識階級間に一般の良民は僕等の眞意の那邊にあるかを諒解し居る事と思つて居る

雨あがり

外務省の革新運動

外務省に於ける少壯外交家の革新運動は巴里歸りの連中を中心として既に連判狀を作り省內某々氏等を罷免せざれば省內の改革は計り難しとて飽迄運動の成功を期しつゝあり（東京電報）

元山の暴風雨
高潮襲來　汽車不通

四日夜來の暴風雨は今も尚留まず引續き午前七時頃より市內の山の手を除く外全市浸水し腰を沒するに至る灣內繫留帆船其他上陸せざるものは悉く沈沒し高潮は岸壁を越ゆ市中に押し寄せ居れり鐵道は安邊驛前で元山間線路破壞し汽車不通と爲れり（元山特電）

橋梁流失
三十名溺沒

永興橋梁三十名を乘せたるまゝ恐く激流に押し流さる郵便電線には異狀なし（元山特電）

檢查院不穩
連判狀を以て增給運動

會計檢查院の判任官以上は去る一日以來連判狀を作りて增給嘆願書を提出せんと議したるが是れを聞き込みたる武藤書記官は是れを停止せしめんとしたるも一同は容易に肯んぜず五日夜遂に條件を院長に提出し容れられざるに於ては最後の手段に出づべく決議しけり（東京電報）

大飛行は十一月中旬
と豫期さる

ラボラ大佐は十一月中旬東京に向け飛行の途に就く可しと豫期せらる（羅馬電報）

大阪工廠は圓滿解決？
村岡提理羅普を齎して歸阪

五日午前着京したる大阪砲兵工廠提理村岡中將は直ちに陸軍省に出頭し田中陸相筑紫兵器局長等と鼎座長時間に亘り協議を凝したるが大體に於て職工側の要求を容れ且つ大阪砲兵工廠に止らず陸軍工廠全部に對し約五割の增給を去る八月に遡りて實施することに決定したるが村岡提理は此の報告を一刻も早く大阪砲兵工廠に通知し職工の動搖を防止すべく右の趣きを大阪に打電すると共に午後七時半東京驛發車にて歸阪せり（東京電報）

入場券迄値上
南大門驛は十錢

滿鐵京管局にては時運の推移に伴ない驛送迎者の入場券値上げを決行し十月十五日より實施する事となりたるが其の料金は南大門驛從來五錢が十錢に、釜山外主要驛從來二錢が五錢になりたり因に回數入場券（三十回使用）南大門驛一圓を二圓に其他主要驛五十錢を一圓に引上げたり

京畿道廳に治まつた
工藤新知事
抱負よりも御高說を拜聽したい　頗る柔かい應待振

京畿道知事として新任した工藤英一氏を道廳知事室に訪ふと新知事は溫顏に微笑を湛へて語る『宿屋住居と云ふ程でもないが未だ何となく落付かない……自分が京城に來た當時は日韓併合で物情騷然で京城市街も又今とは全く變つてゐた然し自分は非常に多忙な職に居たので京城の見物も出來ず當地の人達にも殆んど接しなかつたそして四十四年四月全羅南道へ出たので京城に就いては全く何も知らない田舍者である今度も急命で去月三十日篠田新知事が着任して簡單な申次をやつて三日京城に來たと云ふ始末で本府や二三へは挨拶に出たが未だ諸方への挨拶にも出ないのである。着任の新抱負ナンテ御話申し上げる程のものを持つてゐないただ誠意でやる考へであるが先づ悠り落着いて君達の御高說でも拜聽してからの事ですアハ…』と圓滑振を發揮した

其評判記

語るに城壁を置かない新知事へは訪客が絕間なく記者の居る間にも金谷京城府尹以下五六の訪客があつた。道廳の小使室で一老人は『何しろ未だ御着任が僅かなので感想もありません然し平民的の極く砕けた方のようですよ』

工藤新京畿道知事

日は人力車で登廳されましたが頭の低い親しい御方と申上げるより外にありません』と語つた國事多端な時に當つて此好個の二千石を得たのは喜ぶべき事じ然も統治困難の時に平安南道知事を京畿道に迎へたのは適所に置いたものであらうとは某氏の感想である。

最適任者だ
勞働代表者としての桝本君　能辯…達筆…任俠
鮮銀秘書課長　飯泉幹太氏談

桝本卯平君が勞働代表者に選定されたのは確に適任者だといふ可きである、僕は桝本君とは稍古くからの親友だが同君は極めて意志の堅實な素養の深い活動的な紳士だ、中學から高學時代までは成績拔群の秀才だつたが大學に入つてから他方面の研究に沒頭して學校の成績なぞは顧みなくなつたので唯學年を通過したといふのに止つて居た、工科の出だけれども將來の社會は勞働であらねばならぬとの持論で在學中から疾く其方の研究に身を委ねて居た政治經濟は勿論

研究に沒頭

哲學にまで亘り就中歷史に精通して專門家をも凌駕する位だ、自分でも經濟と歷史ならば大學の講座にでも立てると自負して居る程だ、

文學美術

文章も達者で著書も二三ある最近には『工場より見たる勞働問題』を發表した『工場生活』なぞは却々面白い研究である、同君は學校生活を終ると直ぐ米國に渡航し職工の群に投じて自らハンマーを揮つて筋肉勞働に從事した、日中はハンマーを揮ひ夜間には專ら研究に從事した事もある勞働問題は其頃から熱心研究を積んで來たのだから今度の代表者たるには充分の資格識見を備へて居ると言ひ得やう、尚ほ君の特長は

苟も然諾

を重んじる男らしい處にある一度思うと決心して引受けた以上は假令水火の中も辭せずといふ俠氣熱氣が醸つて居るから友愛會其の他の反對があらうとも斷固として自己の所信に向つて猛進するだらう常に言ふには『敵として恐ろしいものは味方にして賴もしい』には

田刃向丁

位を振廻す勇氣がなくつては駄目』と自分の好きな人に終には懷に入れて了ふ程の太腹中だから鳥渡親分風な處も見られ、かと云つて一面又優しい心情を有する人で文學美術に嗜好を有つだけに却々詩的な逸話もある、今の夫人と

結婚の時

なども僕は相談をかけられたが『君を滿足させる者なら誰でも可いではないか』

間島方面不穩
不逞鮮人と馬賊橫行　掠奪＝拘禁＝危險至極
六日於惠山鎭にて　伊藤特派員發電

間島安圖縣方面にては不安氣分漲り人心恟々たり余は三十日營林廠作業地視察を兼ね現地觀察に行き七日目に歸來し路を内を傭ひて三日明慮頂嶺に着きたるに宿屋一軒あり主人曰く島不穩以來旅客跡を絕ちて既に一月なり今何の觀察ぞやと警け旦曰く約三十分前馬賊の一隊茲より深間に下れりとの噂ありしが逢遭せざりしは天佑なり彼等若し貴下の來着を知らば一大事起らん速かに去れと注意す途中不逞鮮人の拘禁中逃け來れる二鮮人に遇へり其言に據れば內島山には六十名の一枝隊あり練兵等を爲し村民及び旅客を捕へて拘禁し悉く斷髮せしめ又金品を强奪しつゝあり安圖縣全體にては五千名に上る可しと然れども避難民中に密偵多く其言信じ難きも形勢は略察するに難からず夜森林を通過する者多く焚火の跡ありて火尙殘れるを見たり

秋冷―と流行感冒
注意が肝要

一昨年は內地も朝鮮も世界的に流行したスペイン風邪が流行して隨分猖威を逞うした虎疫も恐ろしいがスペイン風邪も死亡者數から押すと一層恐ろしい事は事實が證明して居る本年も上旬は既に惡性寒冒

發生の兆

があると報じてゐるから今冬も聞くだに恐ろしい此惡性感冒が秋冷と共に襲つて來るかも知れない傳染病研究所の二木博士の說による感冒の大流行後の一二年は必ず小流行を見るのが例であるから昨年の大流行後の今年だから或は多少の流行は免れまい一旦終息した病毒が何故再び秋冬期に發生するかと云ふと夫は

本病原に

就いて未だ學說が一致せぬので說明は出來難いが兎に角病毒が何處かに潜伏し或は抑壓してゐた者が時期到來で再び現れ出るものと見得るから各自一層の攝生が必要であるのである市內田中丸病院の上野副院長は語る『京城でも既に去月中から一二惡性感冒に症狀が酷似した患者を出したが未だ眞正の患者は本年はない然し秋冷が加はると同時に或は再び惡性感冒が

暴威を揮

ふかも知れぬので各人の注意が大切である。殊に愈虎疫も市內に發生した事でもあるから此際個人衞生が一番大切である、秋季は食慾が增進するから兎角胃腸を害し易いから此點に注意し攝生を怠つてはならない之は惡性感冒ばかりでなく虎疫にも其他總べての病氣に對して第一に注意すべき事です』云々

政友本部燒失
今曉調査室より發火

今曉（七日午前二時二十分）芝公園政友會本部調査室より出火し同本部建物全部を燒失す書類其他殆ど燒失、原首相は待合所を殘し他建物全部を燒失せるが幸ひ同總裁は十三時三十分鎭火せるが幸ひ（東京特電）

庭球界の人々（六）
朝鮮銀行下關支店長　井上正愛君（鮮銀）

京城庭球界の啓育指導者として鮮銀の井上正愛君を忘れる事は出來ない大正四年以來庭球界の爲に寄與された功績は枚擧に遑がない往年京城庭球倶樂部創設に際しては其創立委員長として親しく劃策斡旋の勞を執られ設立後は常任幹事長として善導されたので勃興の機運にあつた庭球界が立派に大同團結を得て漸次基礎を造つた井上君の貢獻に接して吾人は感謝に堪へない氏は明治十四年高知市に生れ三十九年東京帝大法科政治科を卒業すると帝國商業銀行に入り日本製鋼所から明治四十五年朝鮮銀行に入つたのである同行鎭南浦、群山の出張所長から本店營業課長になり八年二月遂に下關支店長として京城を去られたのである氏は指導者であつたばかりでなく自ら運動場に立つて且選手に伍すると云つた精力家で乘馬擊劍撞球スケート悉べての方面にスポーツマンであつた

仁川行
潛水艦觀覽
明八日より三日間每日午前八時五十分十時四十分南大門驛發
主催　京城日報社

潛艦觀覽心得

一、潛水艦は豫報の如く仁川に入港し愈々八日午前八時より一般の觀覽を許可する事となりたるに就ては一般觀覽者は左記の注意事項を確守ありたし

出發、南大門驛發車時間
午前八時五十分（杻峴着は十時十分）
午前十時四十分（杻峴着は零時四十分）
歸途、杻峴驛發車時間
午後三時十分（南大門着は五時五分）
午後五時十分（南大門着は六時廿五分）

一、割引乘車券を購入せらるゝ向は剩錢排底である故小錢を用意し剩錢を要せざるよう準備されたし特に驛前の發賣所では混雜を防ぐ爲め剩錢を用さゞる筈なれば小錢の無い人は割引乘車券を買へぬ事になりますから御注意下さい

一、割引乘車券は前記の各所で販賣してゐますから驛前發賣所の困雜を避ける爲御近所の各販賣店で豫め御買置下さい

一、割引乘車券は龍山若しくは永登浦杻峴等の途中驛から乘降された場合にも賃金が減きません

一、仁川行往復乘車賃金大人金六十錢十二歲以下半額は當日用意の事

一、乘車券は前日より發賣し居れば府內は驛前本社又は本紙取次所府町田新聞店、盛文堂、三省商會龍山方面は同所町田新聞店、盛文堂より成る可く前以て購入ありたき事

一、艦の出入口狹隘なれば服裝は務めて洋服等の輕裝を選びたき事

一、艦內に搬入を許さゞれば洋傘洋杖其他の手荷物も成可く携帶せざる事

一、艦內への出入には下駄は絕對に禁止しあれば草履又は靴等を穿たれたき事

一、本社休憩所に於て茶菓の接待はなせども長時間に亘る事故辨當又麵麭、壽司等の辨食用意ありたし

一、出入は築港正門西方第二通用門よりすべき事

一、構內に於ては休憩所以外喫煙嚴禁の事

一、觀覽券は必らず携帶の事但し券面記入の日時にのみ有效なれば午前午後の區別を了解して乘車す可き事

一、混雜を防止する爲め觀覽者は靜肅に指揮者の命に從ひ各自勝手の行動を執らざる事

一、觀覽時刻は午前は八時より十一時半迄、午後は一時より同五時限りの事

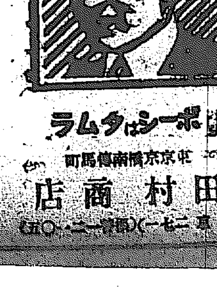
一、小兒の艦內觀覽は嚴禁、婦人も遠慮ありたき事

一、入場者は一々傍診を爲すべきに依り疾病者は入場を愼まれたし

龍山十日會

龍山十日會は例會を兼て今回昌德宮警察署長に榮轉せる矢野憲兵分隊長の送別會を十日午後六時より同所新玉樓に於て開催すべしと

冬帽到着

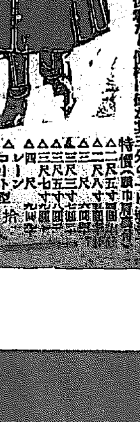


東京橋南傳馬町
田村商店
電話京二七一一（振替東京二一〇五）

京城明治町二丁目江戸川横（電話六二三一番）
內科　小兒科
入院隨意
森病院
醫學士　森定吉

防寒防水の實用的羅紗マント
羅紗地の暴騰は今冬のマント類に一大恐慌を加へんとする然れ共案ずる勿れ既に世人の定評を得る本品の短期特賣
●本品は品質も體裁も將來羅紗地に劣らず殊に防水作用を施し點は大なる進歩にて且裁縫入念なれば單に防寒のみならず雨時も傘の心配なく至つて便利なり價格は僅か其三分の一に過ぎず
特價（頭巾付）
二尺五寸　…
二尺八寸　…
三尺　…
三尺三寸　…
三尺五寸　…
三尺七寸　…
四尺　…
△コート型　…
△小法師子型…
色は茶、紺、鼠
送料內地…

實際適用
高尚優美



●何故に廉價なる化學的最新優秀の技術に依る國產品ぞ
●斯くされば紳士官吏銀行會社員より男女學生の通學用自轉車乘用等に至る迄今後の季節に缺くべからざる實用品
事實有力なる證據は先づ見本を要求あれ
物品は代金引替にても送る
特約希望者は申込あれ
東京市芝區三田功運町
發賣元　日興社
振替東京四五一七三番

皮より強い理想的の
專賣　柳織トランク
◎其他旅行用具一切
◎魔法瓶及中瓶取替
京城本町電話五四番
高木旅行用具店

京城府明治町二丁目（本町江戸川横より入る）電話三七八番
內科　小兒科　入院隨意
ヂアテルミー科（腸胃病）
中島醫院
院主　中島貞備

最新驅黴藥
ヒギトール
（大澤・官三等藥局正劑）
本劑はサリチール酸水銀の獨創にて他の同種製劑に比し優越なる點に關し東京帝國大學醫學部講師醫學士杉田直樹氏の報告あり（報告書進呈）
定價　一二〇十二管入金壹圓廿錢　三〇〇一瓶金壹圓八十錢
發賣元　東京市京橋區中橋廣小路町　ラヴム製藥株式會社
同　京都出張所　京都市烏丸通二條上ル西側

資本金壹千萬圓
頭取　安田善三郎
京城本町一丁目
株式會社百三十銀行京城支店
電話長五八番　振替貯金京城一二〇番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之

第五版

寛城子事件交渉に就いて

在奉天　老秀生

◆吾輩は寛城子事件交渉に對してケチを付ける心算ではなかつたが相手が三面六臂の張雨亭將軍であるから何時ドンナ難題を逆戻的に食はされるかも知れない十分に御用心あつて然る可くこやつて置いたが案の定、ハヤやられてるご云ふから堪らない餘り寛大振るからこんな事になつて來るのである

◆一ツ體寛城子事件なるものは一から十まで日本がよくて一點批難の打ち處がない迄に立派なものであつたか如何だかは疑問である……是れも吾輩は決してケチを付ける意味で云ふのではない……先づ第一に武裝した支那軍隊を鐵道附屬地内を勝手に通行せしめたり休憩させたりしたのは日本の手落か將た又支那側の失態か

◆特に此の支那兵たるや教育の點に於て常識に於て此の鐵道附屬地なるものを正當に理解し得る丈けの腦力のあるものか否や其兵隊に一度は通行させたにも拘らず今度は通行を許さない築は正に彼等を激昂せしめた大なる原因ではあるまいか其他擧げ來ればこンな矛盾した樣な事は多々ありはせぬか

◆實際寛大であるものならば何故に其の當初に於て寛大振を發揮して奉天軍にも吉林軍にも大いに寛大にやつて見せたらばよかつたものを吉林兵ミ云ふ奉天兵ミ云ふも要するに支那兵の一種に間違ひはない、何も今になつて交渉が寛大であるこか何さか自分から寛大呼ばはりするのならば一ツの事に交渉もせずにキット寛大サを見せてやつたらば如何だ

◆殊に寛城子での突發事件にしても是れを公平に考へたならば其曲彼れにあるは勿論であるが日本にも全然何等の責任もないミ云ふ事は云はれまい、此間決して私心を挾んではならぬ、そこで彼の非をのみ論じて自己の彼を盜はんごするが如きは正に丈夫さして士君子さして大いに恥べき處であらねばならぬ、善惡邪正は何處までも明かにして置かねばならぬ

◆のにも拘らず盛んに交渉の寛大を振舞はして餘りに寛大振るからたまらない、早速英國側の調査では斯うで御座る、米國は斯様に調べてるのである、故に日本こしても若干の非あるは蔽ふべからざる處で支那側に謝罪を要求せらる、ならば夫さ同時に支那側にも日本に對して要求がある、相互に隔意なき處を打明けて交渉するのが正に日支親善の表徵ではないか、故に斯々の處は日本ミして支那に對して誠に遺憾に堪へない處であるミ其意を明瞭にして貰ひたい、寛大なる日本の事であるから其れに對して否應はあるまい

◆ミ來たから堪らない、實際に腹のない外交つかひの事で其筋から是れ〱の交渉をミ云はれるミ早速お寺の小僧が御經でも讀む樣なつもりで暗誦してかゝるのだから情ない其筋からの命令書に書いてない事は一切解らないのであるから愈々堪らない其筋が寛大であるミ云へば實際寛大なものミ速了して寛大を押し付け樣ミするから今度の樣なへまをやらねばならぬ、中央も出先も共に氣を付けたらごんなものか

長春名物 阿片物語（三）

長春支局　一記者

然し嚴重な其筋の目を遁れて阿片の密送でもやらうミ云ふ位の者は其れ相當の準備をして掛るは勿論で驛頭に於ては始終刑事連ミ之等密送者の智慧競べが演ぜられて居るミ共に赤龍々な茶番劇が起つて居る信女袋や手提鞄は普通で腰腹から多なれば外套の中へ縫い込んで居るのもあるが或る日本の女の如きは腹へ多數卷き付けて

姙娠の態を裝ふ

て居たのを發見されたミ云ふ滑稽な事もある亦或は情報を得た刑事連が待ち構へて居る處へ馬車を驅つて來た露西亞人が其れミ感付くや遽に馬首を廻して將に捕へ樣ミ近寄る刑事連に砂りを浴びせながら附屬地外へ逃れて仕舞つたミ云ふ事もあり或は附屬地に住んで居る今年十四歳になる露西亞の少女が手先に使はれて密送をやつたのを始めの一二度は年少の事こて特に說諭で放還されたが過日亦もや多數の阿片を携帶して一等車に乘り込んで居る處を發見され遂に附屬地の退去を命ぜられた事もある中には手輕く列車内に持込んだ阿片の包みを

手早く綱棚へ截

せて置き自分は遙か離れた處所に座を占め若し發見された場合でも自分は素知らぬ顔で管く免れたものもあるが何れにしても餘程度胸の据はつた者でないこ係官の鋭い注視に遭ふて眉一つ動かさず自然の平氣を保つご云ふ事は中々困難なさうである、最も顯著なのは支那軍人にして阿片の密送或は掩護をするものもある事で其本人を自分の從者に仕立て堂々ミ列車に乘り込まうごする際係官の臨檢に遭ふミ早速運長ミか營長ミか中には團長ミかミ記した例の肩書隊山の大きな名刺を振廻し係官よりは自分の方が地位が上であるから取調べを受ける理由がないこか或は

支那武官たる我

々の荷物を檢査するは不法じあるミか種々文句を並べた上愈々ミなるミ本人は自分の從者であるから此儘放還して貰ひたいミ横柄押しに要求し其れでも聞き入れられないミ幾ら日本官憲で檢擧しても自分が支那官憲の方へ交渉すれば一も二もなく放免されるのであるから其樣な無用な手數を省く方が宜からうなごミ傲慢極まる言動をなすものさへある最近では昨年中東清線東部國境の五站（ポグラニツチナヤ）に派遣されて居た營長吳志臣の率ひる吉林第一混成旅第一團三營の四百七十餘名は旅長裴其勳中將の命によつて去廿七日長春へ歸來したが駐屯地の五站が

阿片栽培地さし

て有名な處だけに引揚げに際し何れも多數の阿片を腹部に隱匿し中には長春に在る某大官のものが五百斤價格約一萬二千圓のものがあり其他の營長以下のものは一千包價格約四萬圓のものを持つて歸り比較的安價で賣つて居るミ云ふので之れを聞き込んだ附屬地内の支那人等には盛んに買收をして居るミ云ふ事で斯る手段を以て密送されては幾ら當局官憲が努力しても手の付け樣がなからうミ支那人間には冷笑的に噂されて居るこの話もある、此外東清沿線に於ける露支人に日本婦人の混入しての阿片密送に之れを發見せんミする露支官憲に露車掌等の横暴さ加減に就ても面白い話もあるが何れ稿を改めて通信する事ミする（終）

住宅ミ水道

大連民政署管内に於ける人口は日支合せて十四萬以上を算し今年度末に至りては優に十五萬人に達すべく豫想せられ居れり民政署が市の發展より生ずる住宅地の拂底の緩和を圖るべく土地の拂下げ貸下等を爲したる市外沙河口を初め市の高燥地たる譚家屯、伏見臺、若草山方面一帶に於ける地區には既に住宅の建築工事盛んに起り本年末より來年春季に掛けて約二千戸以上の住宅竣工を告ぐべきが之等の住宅に最も急を要する施設は電燈瓦斯及び水道なるは勿論なり然れば大連水道課は土木課ミ協力して現に水道施設工事を急ぎつゝあり而して工事は漏斗を造りそれに應じて進めつゝあるものにて順調に運び居れり更に水道課は今年度豫算に於て削除されたる送水管を是非共來年度に於て峻成せんミし該豫算を來年度豫算案に計上すべしミ大連水道課員の談を聞くに今年に於てさへ盛夏の候に際しては現在の送水管の送水量にては不足を來し僅に夜間給送によりて不足を補ひたる次第にて迚も一本の送水管にては送水し能はず送水管の增設は實に大連市民の生活に直接影響あるものなれば關東廳も無論之を許可すべく思はる該豫算が通過すれば直ちに敷設工事に着手する筈なり鐵價が幾分下落せりこは云へ豫算額は可なり膨大なる可し云々（大連）

問題を惹起した 三菱の土地賣買
借地人側の大恐慌

平壤府道夫氏管理の下にある三菱所有平壤大和町二ケ所、泉町、山手町、港町各一ケ所計五ケ所此總坪數一萬一千百十一坪餘の地所は從來平壤、京城、仁川、其他約五十餘名が借地して大部分家屋を建設し相當營業し居れるもののみならず右地所は此程當地營業主福島莊平氏が三菱ミ契約の下に賣買し已に土地引渡しも終了したる件に關し前記五十餘名の借地人等は右土地が福島氏の手より更に第三者に賣却せられ尚之を轉賣し所謂土地ブローカー等の手に渡るが如き事ありては現在借地人側の迷惑甚だしきのみならず延いては平壤の發展を阻害するものなれば何ごか此際方策を講ぜんものミ三日午後七時右借地人中有志十餘名は旭町に集合し新聞記者團立會の上協議會を開きたる結果三菱が彼等借家人を差措て之を福島氏に賣却せるは不當なりこなし四日午前一時五分發列車にて右土地總管理者たる水原三菱東山農場中里支配人に對し福島氏この契約を破棄して右借地人側に之を賣却するか福島氏が買收したる價格にて福島氏より直接借地人等に賣却するかの二問題を提出して交渉すべく右有志者を代表して野路增吉、森田奈良治の兩氏は同地に向け出發したり、

福嶋氏の意向

右件に關し曾て京城に出張中なりし福島莊平氏は四日朝歸壤したるを以て記者團は同日午前十時同氏を訪問し右土地賣買に關する事情及び同氏の意嚮を聞くに同氏の談によれば該土地は由來三菱に於ては之を分割的賣却するが如き事は同會社の立場より到底不可能事なるのみならず且つ右一萬一千餘坪中には大和の如き主要の位置を占むるものもあり又は港町方面の如き邊避なる位置を有する箇所等もあつて之を分割賣却するこきは主要地は買收せられて邊避なる箇所は自然賣殘さるゝここゝなるを以て斯くては之が處理上非常に手數を生ずるの弊あれば三菱に於ては福島氏に一纏めさして之を賣却し福島氏の手より個々の自由に賣買せしむるの方針より出でたる者にして他に何等介在せる事由あるに非ず又福島氏の意見ミしては平壤土地發展上借地人に賣却する方法を執る考へなるも右賣却は萬人の指定する時價に於て之を賣却し決して暴利を貪るが如き考へはなく又之により思惑的賣買を爲さんミ等の意思に非ざるも萬一借地人等に於て時價より安價なる價格又は不法なる方法により之が買收せんミするが如き手段に出づるこせんか寧ろ之を再び前所有者に返還するか又は相當の評價を以て第三者に賣却するこ亦むを得ざることなりこ述べ居たり右借地人に對し賣却の方法ミしては商業會議所に談合の上右土地價の評價を入れ之を公示して可及的借地人に賣却すべしこ言明し居れり、

朝紡工事進捗

過日來當地釜山鎭に於て敷地九萬餘坪を購入し引續き七十七に茨手中の朝紡工場は近く農繁季に入り冬季を控へたる等に依り一は營業準備等の關係にて昨今工夫を增加し晝夜兼行の狀態を以て進捗を計りつゝあるが左水營よりは工場地に輕便レールを布設して土沙の運搬を爲しつゝあり尚既に本社を當釜山に移轉すべく其筋の認可を得たる會社は工場建築の監督諸般の準備あり本年内に調査地に移轉して事務の開始を爲すに至るべしミ云ふ

秋鯖の時期
今が一番甘い

（釜山）鯖はお惣菜ミして一般の家庭に歡迎されてゐるが九月以降にミれるのを秋鯖こいつて一番味が好い農商務省の調べによるこ鯖は日本沿岸の到る處で獲れる一箇年の收穫千二百萬貫でこれを金に換算すれば約三百萬圓に上るさうである中には長崎鹿兒島等では各二十萬圓位の收獲があるこの鯖には丸鯖ミ平鯖の別があるが丸鯖は口端が白いので俗に鼻白ミ呼ばれ平鯖は口端が黒いので同じく鼻黒ミ呼ばれてゐる平鯖は深海を好んで游泳する丸鯖ミ平鯖ミは內附も稍異なつて居る漁期の第一期は春先の四五月頃で鯖の群が南の方から北の方へ産卵に來る際で之を上鯖ミ云ふのであるが九月以降に獲られるのは下り鯖ミいふので之は産卵を終つた鯖が北から南へ下る時で此時は春よりも一帶に深い處を泳いで居る此時が鯖の一番甘い時で食膳に供するお惣菜用ミしてお臺所から歡迎されるのである鯖の大漁のあつた時は生鮮の外節に製したり罐詰にしたり鹽乾にしたりする外肥料にする事もあるが內地向きには鹽鯖が一番よく賣れるさうだ

商況

株式

東京現株（至急電報）

銘柄	挿込	▲印騰貴 七日中値 ▲印下落
鮮銀	[illegible]	▲二七〇、〇〇
同新	[illegible]	▲二四五、五〇
東電	[illegible]	……
東拓	[illegible]	……
同新	[illegible]	……
殖銀	[illegible]	……

東京株式（至急電報）

銘柄	七日第一立會	前電比較
東株	四三一、五〇	一〇、〇〇高
同新	四二〇、〇〇	八、四〇高
滿鐵	……	……
一新	……	……
二新	一五五、五〇	・六〇安

大阪株式（至急電報）

銘柄	七日前場寄付	六日後引比較
大株	四〇四、九〇	四、六〇高
同新	三九四、九〇	四、九〇高
郵船	二六七、八〇	三、〇〇高
同新	一四八、九〇	一、四〇高
商船	……	……
同新	……	……
鐘紡	四〇四、三〇	・六〇安
同新	三八一、八〇	二、〇〇安
東紡	二八四、五〇	・六〇高
東糖	……	……
堂米	……	……
上取	七七、一〇	……

京城現株（標準一段）

銘柄	▲印騰貴 挿込値	▲印下落 寄値
仁取	[illegible]	一五四、〇〇
朝郵	[illegible]	四二、〇〇
電興	[illegible]	一九、〇〇
皮革	[illegible]	二六、〇〇
東畜	[illegible]	一五、〇〇
朝紡	[illegible]	三一、七〇
朝紙	[illegible]	三五、五〇
商銀	[illegible]	五八、五〇
同新	[illegible]	▲一七、〇〇
滿毛	[illegible]	五五、〇〇
滿糖	[illegible]	五一、〇〇
朝煙	[illegible]	三一、五〇
輕鐵	[illegible]	七二、〇〇
鮮土	[illegible]	二三、〇〇
東亞	[illegible]	▲四四、七〇
東煙	[illegible]	三四、〇〇
仁倉	[illegible]	一五、五〇
製砂	[illegible]	一九、〇〇
朝日	[illegible]	▲一四、〇〇
朝綿	[illegible]	▲二二、〇〇

出來高平均値

銘柄	平均値	出來高
殖産銀行	一〇四、〇〇	三九〇
漢城銀行	三一一、〇〇	[illegible]
正金銀行	二四七、〇〇	[illegible]
同新	一四九、〇〇	[illegible]
滿鐵二新	一四二、〇〇	[illegible]
商船新	一三八、〇〇	[illegible]
日本綿花	三四、〇〇	[illegible]
朝鮮紡織	三二、〇〇	[illegible]
東亞新	四四、七〇	[illegible]
朝鮮製綿	二二、五〇	[illegible]
上海取引	七九、五〇	[illegible]
大株新	三七八、〇〇	[illegible]
東拓新	八一、五〇	[illegible]
鮮銀新	二三九、〇〇	[illegible]
商銀新	一七、七〇	[illegible]
北海炭礦	一五五、五〇	[illegible]
南滿製糖	五一、五〇	[illegible]
電氣興業	一九、〇〇	[illegible]
五分利債	八八、五〇	[illegible]

相場出直氣味

貴族院の物價調節警告日銀の金利引上等に眼先人氣的一下げは免れざるべしミ觀測され居たるが果して東西兩市場共三日より五日に亘り目立ちたる低落を演じたるが日銀の利上げは既に市中金利先走り居りたる際ミて實質的に何等の惡影響なく又警告の如きも急激に積極方針を樹て得べきものに非ずこの見極め付きしものか六日後場より斷然出直り氣味こなりたり

鮮銀益々強硬

鮮銀株は一般銀行株買氣再燃ミ共に最近氣丈の成行を示し居れるが本日本社入電は舊株二百七十圓新二百四十五圓五十錢こありたるも新田商店入電は新株四十七圓こあり益々高氣配に在るが如し

殖銀は氣迷ひ

殖銀株は昨今概して不勢の成行にある折柄昨日本社入電は突如百八圓を報じたるを以て今朝來手持筋の問合せ電話殺到したるが他株式店へ何等入電なき處を以てすれば或は誤電の疑ひなきに非らざるも銀行人氣再燃の折柄全然打消し能はざる節もありて一般に氣迷ひ居れり

東亞新の買物

東亞煙草は久しく不勢を唱へて伸悩み居りしが最近安値の買物頻りに入り込みつゝありて先頃迄四十四圓五十錢なれば容易に手に入りたるものが昨今は七十錢より五圓處まで買はざれば賣物少なき狀態こなりしは該社專賣制問題が豫算の都合上當分延期さるべしこの取沙汰なりしも今回愈々總督府豫算に計上され最早來期議會の協贊を經るばかりこなりたるや傳へられ昨日來所入電に依れば內地に於ける同株の氣配引締るこあり劣々夫等の早耳筋の買物に非らざるかミ云ふ

朝日釀造株

朝日釀造株は最近地株概して不振の折柄其の質價を研究する遑なく僅少の利乘りに手放さんミする者ありて昨今稍不味なるが其値十四圓より五十錢處を唱ふるに至れるが昨紙所報の仁川に於ける釀造品評會に於て最優等賞を得たるは當地の中井氏ミ製造社の前身たる吉金氏の經營に係る內氏なりし由にて今回の如何に釀造界に重きをなし且つ有望にして增配の見込あるかを知するに足るべければ早晚地株の人氣回復ミ共に同株の買氣再燃するに至るべしミ云ふ

勞働問題と株

近時勞働問題の喧噪を極めつゝあるより之を株界の强弱材料に供する場合少からず特に昨今の如く株式市場が多少ミも低落せる場合に於ては勞銀の騰貴や八時間勞働制を賣材料ミして云爲せらるゝ傾向あり生產費の騰貴若しくは生產能力の減退が各事業會社に不利益の結果を招來するこミは勿論なりミ雖も生產費の騰貴の全部が直ちに事業會社の利益を殺ぐべきものにあらざるこミ即ち生產費の騰貴は聽て或る程度までは消費者の負擔に歸すべきは自明の理なるのみか八時間勞働制の如き之を原則ミするに於て我が國の資本家側も最早大なる異議なきも八時間以上の勞働を爲す場合にありては別に割增賃金を與ふるが如き除外例を設けられんには寧ろ此の除外例により賃金收入の多きこミを希望する時代來るべく從つて今日我國の勞働問題に關し理論ミ實際の間に相當の間隔あるこの旁該問題を以て無暗に株式賣りの材料視し難かるべし

兜町だより

何處より傳はりしこも無く東西兩取引所より內々主務省に對して爲しつゝありし增資運動は遂ひに失敗に歸し、最早運動の餘地無しミの說さへ立ち一體の氣配は又漸次惡化の有樣こなつた▲無鐵砲に買募る地方筋も昨今は弗々警戒して利喰ひを試みて居る其所へ地場は大分安氣さになつて居るから此利喰ひを機會に賣叩く傾きもある旁々挫折の程度も急激になるのであらう而して此警戒的利喰ひが止んで少しく買度くなれば反撥も自ら急なるものがあるけれど大體の相場は少しく疲勞して居る樣に察せらる▲當限の喰合は左程重荷でないけれども中限の百四十萬は何うも重荷の樣に感ぜられてならぬ此中物の大喰合が百萬以下に整理せられる迄は眞に出直る事が困難ではないかこも思はれる財界の大勢には未だ格別悲觀すべき所はないけれごも近時金融界の情勢が追々緊縮しコールの二錢三厘を唱へて居る事は一寸注意せねばならぬ現象であらう▲戰後の大相場なるものは恐らく尙此邊で天井を打つものではあるまいけれごも前月來隨分買上げて一般客筋の買玉が可なり膨大されて居る嫌ひもあるから相場の上足が鈍くなり或は多少軟弱な成行を見せる樣になれば自ら買玉の手仕舞を急がねばならぬ破目こなる其所へ機會待ちの弱氣が腰を入れて來れば少し凄い所を見せるかも知れない

米況

仁川米豆取引所仲買人　仲買店　仁川海岸町三丁目　電話長一〇七・二六二・五五五

東京期米特電

◎七日前場
當限寄付　四十一圓二十九錢
中限寄付　四十二圓五十錢
（日後場）

◎七日前場	
寄付	四一、九九
高値	……
安値	……
止め	……

大阪期米特電

◎七日前場
當限寄付　四十四圓九十八錢
中限寄付　四十三圓十錢

◎七日前場	
寄付	四一、九〇
高値	……
安値	……
止め	……

下關期米特電

◎七日前場寄り

	當限	中限	先限
寄付	四三、四〇	四三、〇〇	四二、八〇
高値	四三、四〇	四三、〇〇	四二、八六
安値	……	四二、五〇	四二、〇〇

仁川期米

◎七日前場兵庫立會延刻

七日前場　防戰押し跡高

今朝天候西南の風に昨日來の雨は晴れたるも前日跡大阪止めの低調切高に硬派中村を首めミして京城筋は猛烈に活躍して（?）を筆頭に全くも買聲を發し軟派武筋をして生氣消沈の境に陷らしめマパラ筋は前物を誘起して當日來ざるが中四十二圓五十錢より六十五錢ミ反撥し先四十二圓二十錢ミ三十七丁高に寄付きしも力武筋の防戰買に買方一派も見送り四十一圓九十錢ミ反落力武筋の防戰米一巡し相つて買姬らんミ變を排めて狙ひを定め居れるマパラ筋は多少買氣を進めて九十九錢ミ盛返し八錢ミ採合ひに引

▲第一節　當は正米の關係上伸惱み四十二圓八十錢ミ寄付中四十二錢ミ反撥せしも山尹の賣ひに七十錢より十錢ミ上伸せしが四に六十五錢ミ弛み先四十二圓〇防戰買りに目先利喰ひも現れ四十一圓九十九錢ミ弛みし押目は強手一派の買狙ひに〇六錢ミ反し二丁度ミ混戰裡に引

▲第三節　當限出來不申中六十二錢より五錢ミ引締まり三錢ミ持合ひ先四十一圓九十五錢より八錢ミ上伸せしも山尹利賣に八十九錢押したる處中村一派の買進みに提灯も加はり四十二圓一錢ミ返して引

▲第四節　當限四十二圓七十五錢中六十五錢より又もや中村一派猛烈に進みしより九十錢ミ跳ね先限又一圓メ五より八錢ミ縮まり眼先利喰ひミ戻待ちの買旺盛にメ二錢ミ弛みしが押目は阪地ミの綱關係上買物を喚び十錢ミ鞘けて引

▲第五節　當限四十三圓メ五錢の買盤ありしも更に賣物なく中九十錢より五錢に上伸し新規買に八十八錢ミ押し先二十錢より手詰め急ぎの賣物ミ買方一派の見送りにメ五錢ミ押し六錢ミ脫合ひに打止めたり

軟派追證攻め

前日來より場面賣方の獨占舞臺に歸し軟派は戰々兢々防戰に努め居れるも人氣の趨く處如何こもなし難く今朝は中限四十二圓九十五錢先四十二圓二十錢ミ各期新高値に爆發せしかば軟派は中限に再度の追證を徵收せらるゝこ本日の定期增證關係もあり必死の奮鬪を續けしも中先を通じ破格の買建を有し平均百五六十丁の利乘せを見つゝある釜山中村一派は高値こそ見送り居れるも安値に乘じて追證攻めを行はんこ其策戰巧妙を極め鮮て逆來の當り屋ミ目せらるゝ阪地この綱關係より押目を狙ひ居れば人氣總じて强く何れにも拘はらず市場は兎角上に走らんこする傾向あり殊に阪地この綱關係ミ買方有力の手揃ひ丈けに眼先は阪地の下げ丈けは附隨せずして却つて上げ足に雖び易ければ今筋の高値あらんかミ期待されつゝあり

▲電話增設▼
長 三八七番
有價證券現物問屋
株式會社野村商店代理店
田中友吉商店
京城本町二丁目　電話長九〇三番　長三〇五四番

市場雜觀

六日前場	
寄付	四二、二〇
止め	四二、〇六
高値	四二、二〇
安値	四一、八九

◇公定相場	
一節	四一、九六
二節	四二、〇二
三節	四一、九七
四節	四二、〇六
五節	四二、一二

本日出來高四十六萬三千八百石

◇帳入値段	
當限	四十二圓六十三錢
中限	四十二圓五十三錢
先限	四十一圓七十七錢

愈々相場は硬派の手に獨占され賣方團を裏切して逆轉超越しを爲したる力武筋は戰々兢々こして防戰に努めしも遂に其の效を奏せず新市の高値を突破するに到りしか市場の一角には彼是風評もあるが兎に角米價の大勢を人爲的に壓迫せんミするが如きは間違ひである事は當市場に於いて好き例證を殘し居る去れば新米期々目覺けて有力なる某氏は語りて日く勿論新米出盛期の鮮米四十圓臺は何人が考へても高いミ思ふは當然の到りであるが此の高い鮮米の現下の相場は更に賣餘地は無いミ思ふのみならず內地は十二月限を以て內地米代用制を廢し一月限より內地米の權威を爭ふこミして來月の新甫は何邊に生れるかミ云ふ事も考へねばならぬ正米の五十二三圓如何に新米氣分に賣り逸るこしても高値を持續されて居るに思ふ去れば其の採算より考へても四十七八圓以下には生れぬであるが又或一部では鮮米の買▲現在の鮮米が如何に割安に有るかは押して知るを得べき行き下良の鮮定期丈無意味に買論者も現れるか知らんが現在の鮮米が內地に於ける▲外米の餘波を蒙り割安にあるので內地商人も當局が外米〱ミ實出しを强行されて居る爲に鮮米の割安物は買ひても見越し買ひは躊躇されて居る傾きがある然れども內地代用制を廢して正米の撤廢を爭ふ事になれば自然鮮米も採算上買進んで來る事は確かで正米節丈に限らず▲定期も道具に買ふ事になるミ思ふ去れば勢い鮮米の內地採算に引付けられる理で新米氣分に脅かされ値頃なご云ふ觀念を以て無意味に賣込むは大に危險視されるのみならず今回の內地反撥が外米壓迫の咎めを曝露されて居るのではあるまいか愈々十二月限を以つて代用制を廢し日本米の權威を戰ふ間際には隨分興味ある大波瀾は免れ難く思はれるから共に大に研究を要するだらう

仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　今村覺次郎　電話長三三・三六八番

京城正米市場

新米の出廻り期を眼前に控へ人氣は益々高値に走らんこする傾向にて內地定期市場は外米代用制の咎めを云爲して日一日ミ新値を移し愈々期正米現高を告げ來れるが今朝の當市場は賣物殆ごなく買人も又新米恐れに高値見送りこいふ姿なれば商内更に進まず見當こしては地搗上玄四十一圓八十錢並四十一圓四十錢平澤三等合格四十三圓五十錢處の唱へにして一昨日來三四十丁方引締まれり

大豆買進む

此一兩日來商內不活潑なりし大豆も今朝は內地高氣配に刺戟せられ各移出筋の買進みあるも外地場鮮人の思惑賣もありて氣配高含みを呈し現物先物共に筋組多く新物の弗々活潑の出廻り初めたるこ相俟つて眼先追々活潑の商内を見るべし本日の出來は左の如し
汶山新大豆一車二十四圓六十錢（十二月十五日渡）▲同現物四百叺二十一圓五十錢▲同四百二十叺二十一圓九十錢（龍山驛渡）▲龍山三等五車二十四圓八十錢（龍山驛出）▲同西水原十三車二十一圓八十錢▲同二車廿四圓六十錢▲東龍山新物四百十八叺二十一圓八十錢（十一月南大門驛渡し）▲同新物八百二十八叺二十一圓八十錢（南大門驛渡し）▲滿洲赤小豆三百叺二十九圓（現物）

仁川正米市場

昨日來新米氣分に脅かされ氣配安歩調の傾きありし當正米市場も今朝更に期米爆發の影響を受け人氣又々三十錢方昂騰を唱へ三等合格上物四十三圓八十錢以下にては斷然賣應せざる模樣にて出廻滿道三等合格並品二百五十叺四十三圓二十錢ミ商談行はれ其他精白米七百七十八叺五十一圓五十錢白米砕二百叺三十六圓五十錢玄米砕二百叺二十二圓七十錢に出來せり▲大豆は減收先高を見越し一入人氣高く龍山物一千叺は二十一圓にて取引行はれ跡尙幾分强模樣なり

綿糸布新高値

內地綿糸界は近來現物に對する思惑旺盛ミ惨々痛手を負ひたる軟派の新規乘出しの勇氣を缺ける外海外市場の今後に望みを囑せる硬派の意氣當るべからざるものありて三品市場は棉安逆行こいふ成行を示し昨後場大阪入電は當限六百四十三圓四十錢を綿布二番一三物十八圓三十錢を受けて一般硬化を促かしつゝあるが何分鮮盆前要一段落後の閑散時期なると大勢の熱狂に前途警戒的小刻み步調に引締まらんミする傾向に各手筋共愼重の氣分を示せり眼先支那滿洲方面の好調を唱へらるゝも瓦斯現物五百二十三圓十先の二十四圓ミ價を示せり等なるも在荷多しミ云はれ既に今日の步調が餘り急激的すぎ或は調節の具體化供つて頭を早むるや知れずさ

演藝案内

本町一丁目　電一〇五〇　壽館
當る十月八日午後六時より　筑前琵琶旭扇會秋季温習會
▲筑前琵琶曲目▲赤垣源藏（子花）▲山崎合戰（子浦）▲宇治川（子…）▲重松中尉（子浦）▲石童丸の櫻（子成）▲錦の御旗（子…）▲村上喜劍（旭揚）▲楠中佐（旭捷）▲川中島（旭史）▲大高源吾（旭央）▲茶白山（旭操）▲湖水渡（旭造）▲藤戸の渡（旭望）▲壇の浦（旭溪）▲羽…（旭…）▲賓盛（旭…）▲項羽（旭掬）▲筑後川（旭子師）

京山愛子

連夜大好評の處　愈々今晩にて千穐樂
七日目讀物
▲村松三太夫
▲朝顔日記續き
明治町　浪花館

本町一丁目　電話九七番　有樂　喜樂館
當る十月四日より特別大興行
◎實寫　蜻蛉の發生
◎骨折損
米國ユ社特約品　探偵活劇『牧師の弟』全五巻
東京各新聞懸賞本年九月完成品　日活獨特新機軸撮影小島孤舟先生作　新派悲劇『新橋情話』全五巻

櫻井町　電話八七三　大正館
十月五日より秋季特別大興行
米國ヴァイタグラフ會社高級映畫
◎滑稽劇『大使』
◎人情劇『銀彈』全七巻
◎新派悲劇『浦里時次郎』全四巻
日本活動寫眞會社代理店

連日滿員御禮
米國エ、エス會社　探偵活劇　牧師の弟　全五巻　說明　石田旭花
日活新機軸撮影　小島孤舟先生作　新派大悲劇　新橋情話　全五巻
本町　喜樂館

京城明治町　電話二六〇　浪花館
京山愛子一行　當る十月一日より毎日午後六時開演
▲御殿の花　▲小栗判官　▲鍋島騒動　▲左甚五郎　▲大功記　▲水戸黄門記　▲正宗ミ久助　▲村松三太夫　▲朝顔日記
京山愛子

電話增設　本町二丁目　電話八五五番　吉田屋

技術員募集
當所々屬官營治道工事に從事すべき內鮮人現場傭人若干名を募集す希望者は履歴書携帶出張所に出頭せらるべし
朝鮮總督府土木局平壤出張所

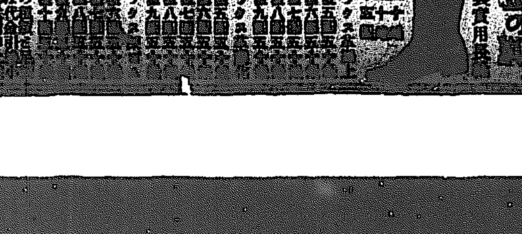
龍　開洋商會
公債株式現物賣買　證券擔保之金融　工業藥品理化學器械　滿洲製紙會社特約店
大連株式商品取引所仲買　滿洲證券現物市場仲買
大連市若狹町一二三　電話長一七九八番　振替大連二一〇二番

現物　坂倉株式　商店

急告
新に生れた時季のお知らせ
毎年煙突掃除や取付けの…
ストーブ取付　掃除請負　諸官衙御用
太平町貳丁目　公益　電話…

鶏卵配達開始
京城本町一丁目五〇　守山鶏飼育場　電話五四二

東京三金の靴
ボックス革製實用長靴



三金高等洋靴店

伊達騒動

小金井芦洲講演

第二十三席

佃屋乾魚を焚く

曰『何と大盡、良い匂ひぢやございませんか、郭五ヶ町に匂ふのでございますよ　政『ウム、然うか此郭ばかりは士農工商の區別のねえ所だ、如何に奥州の大々名でも此の郭へまで來て人もなげな振舞は片腹痛いね、好しッ向うで然う云ふことをして居るならば俺の方でも一わ焚く物がある、紙と硯を貸して呉れ　女『ハイ、大盡何をお焚きなさるのでございます　政『是れを持つて家に使ひをやつて呉れ、干魚が四五俵來るから其積りで　女『マア、干魚なんぞ何になさるのです　政『默つて居ろ』轡子を雇つて御屋の者が手紙を持つて四日市に行く、忽ち干魚が五俵參りました、二階座敷へ積上げて政『サア／＼何でも構はねえ、此の干魚をドン／＼焚いて呉れ』一同の者が驚いた○『アア臭いぢやありませぬか唯でさへ臭いものみ焚いた日には……　政『焚いた日には大變と云ふのか伽羅だか、柴舟だか知らねえが俺はア云ふ好い匂ひの物は蟲が好かねい、和女達は臭い／＼と云ふけれ共此の干魚があつてこそ郭へ來て、どうせ商賣のお世辭でとか云はれて居ることが出來る云ふのだらうが、大盡とか旦那のだ、サア／＼焚くんだ／＼』と火鉢を多く持つて來させる、金が物を云ふ郭で厭な顔をしながら銘々が乾魚を焚く、臭いの臭くないのと云つて堪つたものではござりませぬ、隣家のことですから尾張屋清十郎方へも煙がドシ／＼這入ります、綱宗公鼻を押へて　殿『ア、臭い／＼

何とも云へぬ臭氣が致すがありや何だ』近侍の者　金『左樣で堪へ難い匂ひでございます、唯今取調べて早速止めさせまする』と下へ降りて來て　金『コレ／＼家内の者、厭な臭氣が致たして上の御機嫌が惡い、何だあれは　清『ヘイ、其事に就て唯今心配を致して居りますので、隣家の御屋吉兵衛方に遊興の客人が態と乾魚を焚いて居ります　金『ナニ乾魚を、ウム―然うか、立戻つて來て此事を君公に申上げるとイヤ何うも偉い御立腹　殿『世には無禮な奴があるものだ、柴舟の名香を焚いて樂んで居る所へ故意と妨げのために臭きものを焚くのは何者かは知らざれど惜くき奴、コレ梶之助其方關取越して早々止めさせて參れ　梶『ハ合點でごんす、偉い無禮な奴があるもので御前樣御遊興と聞いたならば愼しんで居るべきに、却つてお敵對ケ間敷く臭い物を燃やすと云ふのは世の中には痴けた奴もあるもので、私が往つて參じますまで……』荒浪梶之助が肩で風を切つて隣りの萠屋吉兵衛の家へ這入つて來た　梶『ア、許さつしやれ　吉『是りやアお關取り入らつしやいまし　梶『隣りの尾張屋清十郎方へ仙臺からお館樣のお供をして來て居る俺ア荒浪梶之助といふもんでごんす、何ぢやか臭うて堪らぬお主が所の客人が何か惡戯して居ると云ふことぢやが、殿樣が御不興ぢやで早速アノ臭いのを止めさせて下んせ　吉『どうもお關取り、何とも彼とも申上げやうがございません、實は手前共も困つて居りますんでございますが、お客樣の遊ばすことで御聽き容れがございません、梶『仙臺の太守と知つて然んなことをして居るのだ、憎い奴ぢや、成程自分の家の客とあつて見ればお前方には云へまいから私が斷つてやらう、惡い洒落にも程があつたものだ、二階へ行くぜ　吉『だがお關取り、貴方がお出でなさると物に角が立つて不可ませぬ、其内に止めて戴くやうに致しますから　梶『其内なぞと云つて何時のことやら分らん、荒いことを俺が云ふのぢやない、逢つて靜かに言つて聞かせう、仙臺の氣象を知つて居る吉兵衛、却つて面倒が起りはしないかと心配を致して居ります、荒波はツカ／＼と二階へ上つて來て　梶『何處のお客はんだか知らんけれ共、惡い洒落も程々にしやんせ、臭うて鼻持ちがならんぢやないか』とヒヨイト向ふを見ると幇間だの幇間が干魚を火鉢の中へ入れて鼻紙で煽つて居ります。

牛乳　朝鮮ホテル　病院　御用　京城東四軒町　岡野牧場　電話一〇六九番

○安東劇場發起人會　株式會社安東劇場籌株に付て既に申込を終りたるを以て五日午後公會堂に於て發起人會を開き拂込期日及び創立總會の期日を定むる由にて創立終了次第建築工事に着手する筈（安東）

貸家又は讓家を求む　但し辯護士向御心當の方は至急左記へ御一報を乞ふ　本町三丁目一監部角　中田藥房

○學校組合評議員會　四日午後一時より府廳樓上に於て決議認定の件に關し學校組合評議員會を開催せり（釜山）

○群馬縣視察團一行來る　群馬縣視察團の一行二十五名は五日午後七時四十九分着列車にて來邱同夜は小山旅館に一泊翌六日市内の視察を行ひたり（大邱）

十月九日

舊八月十六日　木曜日　赤口　南大安　角　なる

三碧　滿月…十五夜

▼九紫▼損益ともに淡き日なり
▼一白▲不得要領に終り勝の日
▼二黒▲思ふ壺に箝まるとある日或は目上の引立を得るや不知
▼三碧▲賑やかなる愉快なる日
▼四綠▼嬉しき便りのある日にて物ごとのスラ／＼ゆく日
▼五黄▲物ごと抜けを得て成功
▼六白▲ちよつと決心に迷ふ日
▲七赤▲努して効の見ざる日なれども努力の功は他日顯るべし
▼八白▲名實とも有利なる日にて思ふことスラ／＼順潮に運ぶ
（▼四綠等）て愉快なる日なり萬事に吉なり　すべし併し驕慢なれば叶ひ難し

有效なる　簡易　經濟的　家庭安全療法

元來耳と鼻とは人體に最も緊要な腦に聯絡して密接な關係を有して居るので、若しも單に耳鼻の疾患とのみ輕視して治療を怠つて居る時は、終には其影響が腦に及ぼし噬臍の悔を貽す樣な事に成る者であるから、罹病患者は早速本劑を使用して治療せらるべきである。

處方優秀・配劑適切・用法簡便

大木耳鼻藥

●本劑主治效能　耳だれ、耳道炎、耳鳴、耳痛、耳内濕疹、耳加答兒、耳垢耵聹、急性慢性鼓膜炎、鼻たれ、鼻加答兒等總て耳鼻の病氣一切に偉効あり

藥價表　小瓶　金二十錢　中瓶　金三十錢　大瓶　金五十錢　送料　内地）金十二錢

◎到る所に特約販賣店有り若し品切の節は直接本舗へ

東京市神田區大通り鍋町　振替（東京）四八〇番　本舗　大木合名會社　振替（大阪）七七九五番　大阪市東區淡路町一丁目

一日毎に効めが見へる　梅毒　りん病毒　ひえ　一切除去ものは

毒掃丸

ばい毒、りん病、ひえ、たい毒、ひふ病、そう毒、かんそう、しようかち、るいれき、よこね、胃がらみ、毛髪脱落、頭痛、便秘逆上其他梅毒性諸病世俗四十八癖と稱する病に大効あり　本劑一名一月丸と稱す如何に其効能の確實なるかを知られよ

定價　廿五錢、五十錢、一圓、二圓、三圓、六圓　送料小二錢中四錢大十二錢

本舗　東京神田花房町　大阪高麗橋東　山崎帝國堂

内科　胃腸病　診察夜九時迄　京城　一丁目　石川醫院　電話二七二九番　一三九〇番

淫羊藿エキス

人蔘ニ優ル強壯劑　通稱三枝九葉草[illegible]

一、思考判斷及び記憶力を增し　二、讀書計算の疲勞を癒し　三、筋骨の疼痛を醫し　四、病後の衰弱に良く　五、血の道[illegible]症に良く　六、貧血[illegible]を良くし　七、手足[illegible]　八、陰痿遺精其の他あらゆる宮病に良く

本劑の服用に依りて貴下の精力は愈旺盛となり活動の能力は頓に增すべし

主効　神經衰弱、貧血症、腎臟病、肝臟病、胃腸病、腺病、生殖器病、リウマチス、ヒステリー、ヒポコンデリー、老衰、精力減退

定價　[illegible]

全國一手販賣　京城日報社代理部　振替京城一一〇〇番

京城特約店　山岸天佑堂　北島支店

外科　内科　皮膚科　京城旭町一丁目　電話一七三六番　島崎病院　陸軍正六位勳四等　島崎[illegible]

最新書式大全

菊版クロース頗美本九百頁◆定價參圓郵稅二十七錢

本書は最新の朝鮮書式大全にして各種關係法規に依り、民事、商事、刑事、交通、通信、財政、産業、特許、意匠、商標、實用新案、恩給年金、警察、學事の十部に分類し各部又一々關係法規を摘録し一切の書式を網羅し餘さず各階級を通じて必携の良書なり

發行所　京城日報社代理部　取次販賣所　京城大和通　日韓書房　大阪屋　巖松堂

資本金參百萬圓（明治三十八年設立）

當銀行ハ預金、貸金、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

株式會社　漢城銀行　京城府南大門通一丁目十四番地

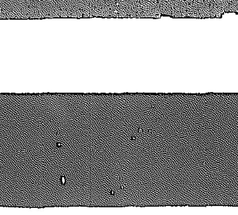
長　男爵　李允用　專務取締役　韓相龍　支配人　張弘植　電話長六〇一　振替口座京城二〇五番

支店所在地　水原、平壤、大田、開城、南大門、釜山

出張所所在地　東京、東大門、東萊、平壤大和町、西大門

大日本優等清酒　ハクツル

品質純良　衛生無害



製造元　攝津御影町　加納合名會社

發賣元　京城本町二丁目廿番地　前田酒店

世界各國　女子大學より大歡迎を受けつゝある　學理的權威を有する美粧料

家庭化粧料

ホーカー液

御婦人中での最高知識階級といへば何と申しましても女子大學生諸孃を推さなければなりませんが斯うした理智に富んだ世界各國の御婦人方は皆お化粧にはホーカー液をお用ひになり他の粗製品には一顧をも與へられません

偉効の一般

●天性の美しさ白さを増す
●日ヤケ肌アレを完全に防ぐ
●白粉下トキ水に理想的
●芳香絶佳にして艶麗を増す

世界到る處の化粧品店小間物雜貨店藥店等にて販賣す若し品切の節は振替又は切手代用直接本舗へ御注文あれ

定價　小二十錢　中四十錢　大八十錢　送料　内地半額

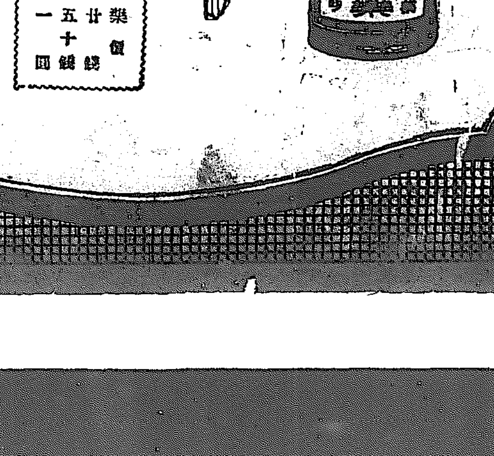
ホーカー液　ホーカー白粉　ホーカー美髪液　ホーカーパウト　本舗

東京神田和泉橋際　堀越嘉太郎商店　振替東京一五六　電話神田一四三〇　一四四〇　一四五〇

弱い胃＋ホシ胃腸藥＝強い胃

胃腸が常に強健でさへあるなれば少し位食べ過ぎたり、飲み過ぎたり又は過つて不良の飲食物や惡い病の黴菌の附着せるものを食したりなどしても大概何の障害も起らずに濟むものである。然るに之と反對に胃腸が弱つて居れば少しの原因でも消化不良に陷つたり又は激烈しき中毒症を起したり傳染病に罹つたりして遂に一命にも係る樣になる、殊に夏は暑さの爲に胃の筋肉が弛んで働きが鈍くなり身体が倦怠し一般に衰弱を來すから此弱り目に附け込んで色々の黴菌が侵入し遂には赤痢やチブス、コレラ等に侵れ易い、斯の如く夏は一年中で一番胃腸の危險な時である、されば平常胃の弱き人は勿論、健康者も注意して毎食後必ずホシ胃腸藥を服用して常に強健な胃腸を保たれよ

ホシ胃腸藥



藥價　廿錢　五十錢　一圓

東京京橋　星製藥株式會社

京城日報 第五三版 (年中無休刊)
定價 壹ヶ月金八十錢 … 發行兼編輯人 印刷人 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號長六千九番

京城日報

驛屯土の由來(中)

驛屯土の沿革は驛土に比すれば頗る複雜で、一通り之を講究するにも困難を感ずる、從つて之に關する古來の紛爭もなかく多い樣である。

屯土とは其の文字の示す如く邊疆塞戍のために屯田兵の制を設け未墾地を開拓し、其の收穫を以て軍需食糧に供充せるより起つたもので、高麗顯宗の十五年、唐制に倣傚して京畿內外陰竹の民を嘉州に移して屯田を興したのが嚆矢であると傳へられてゐる。然るに高麗の衰へる頃、百般の綱紀弛緩するに伴なひ、權勢ある豪族輩が、擅まゝに屯卒を驅使して、附屬屯田を私する者多く、非常の弊害を醸して來た。李朝の太祖高麗を滅して自ら王位を踐むに及び、此の積弊の刷除を企て、陰竹部所在の一箇處を殘すの外、沿海地方の屯田は一時悉く廢止して了つたが、後日に至り再び之が設置の必要を認め、壯鎭二十結、巨鎭十結、諸鎭五結、大都護府二十結、都護府十六結、縣並に郡は各十二結を配附するの制を定めて、之を再興した。世祖の六年、更に從來屯田のなかつた諸邑に對し、陳廢荒蕪の土地を開拓して屯田を作らしめ、一層之を擴張した。此頃から屯兵以外、普通地方官衙の經費も、附屬地の收穫を以て支辨するの風を生じ、經國大典には國屯田と官屯田との區別を設けて之を記載して居る。即ち軍需軍糧に充つるものは國屯田といひ地方官衙の經費に充つるものは官屯田と稱したのである。壬辰の兵亂起つて、全域の民擾流離して、耕種に從事するものは甚だ少く、軍糧を得ることが甚だ困難となつたから、軍卒をして鋤犂を執つて耕作せしめ、其の收穫を折半して、一は耕作者に與へ、一は官に收入することにした。宣祖の二十六年に訓鍊都監の職を設けて軍卒を募り、兵事の訓鍊を授くると共に、是屯田を耕作せしめ、從て民田を募入して收税を爲さしめた。此の募入民田は、其の納税が普通耕税に比して低額であつたことゝ、屯土の耕作者は賦役を免除せられたので、人民は爭つて之に應じたといふことである。是即ち各營衙門屯田設定の始めである。かくて從來の國屯田は訓鍊都監の屯田に併合せられ國屯田の名稱は自然消滅し去つて、屯田は訓鍊都監屯田と官屯田との二種となつた。其後又復大いに戍兵を募り、屯田を興すの評があつたが、此時は最早防禦を嚴にするの必要が次第に減じて來たので、遂に沙汰止みとなつたばかりでなく、李朝の政治も漸く澆季に入り、制度次第に弛廢し、屯田の如きも、其の名は殘つても、其の實質は一變して單に官衙の收入財源となるに止まり、各營衙門屯田も官屯田も同一の狀態となつて了つた。屯田の設定は其の種類に因つて各自相違して居るが、大體の區別を爲せば(一)他官廳に於いて所管して來た國有地を移したもの(二)陳廢に歸した田土又は荒蕪地を開墾したもの(三)民有地の結税を折給したもの(四)罪人の所有を沒收したもの(五)各營衙地方官衙等に於いて特に買收したもの、五種に歸するを得。中にも陳荒地を開墾したものゝ其の大部分を占め、是等の土地開墾は、軍丁又は農民を發し、之に牛馬農具食糧等を與へて開墾せしめ、成功の後は其の收益を折半するの方法で、之を打作又は打租と唱へたのである。各營衙門屯田は、總鎭又は其の衙門から屯官を差遣し、之が管理監督を爲さしめ、租稅の如きは全く免除されたものである。然るに後年に至り、人民の私有地を屯田と稱して脫税を圖り、或は又屯官が人民と結託して私利を貪るものがあつたりして、各種の情弊漸く繁くなつたので、顯宗の八年に、訓鍊都監の屯田は、全部糧餉廳に移屬したが、積弊は容易に除去するを得ず、歷代之がために苦心したものである。光武四年に之を宮內府に移し、明治四十一年國有に移し、度支部の管理に歸したのである。

朝鮮歷史古蹟調査に就て(三)

京大教授 三浦博士談

朝鮮の歷史記錄は舊『史庫』に於ける歷代の『實錄』其の他の圖書を始め今尙奎章閣所藏の史籍は何れも史料として其の價値に富み、朝鮮史の研究に取りて必要缺くべからざるものなり。然るに是等の史籍は總督府に至りて悉く目錄を整理し文庫に架藏せられ、僅に『實錄』の完存せるもの三部の中草本一部のみが往年東京帝國大學に寄贈せられたるの外は、一部として散佚せるものなく、『實錄』の如きは闕缺本すら一々鄭重に圖書の出納に當る者の手向を使時代よりの老鋪せる程なり。而して歷史に就きては、大正五年朝鮮半島史編纂の事業を創め、專門學者を聘して現に起稿せしめつゝあり。由來朝鮮人は東俗不好古と云ひて古物舊事を尊重するの念に乏しく、必ず珍藏せざるべからざるものにありても、其の年を經て古色を帶ぶるに至れば是れを新品に代へ、舊物は惜氣もなく放棄して顧みず。寺刹に於ける代々の影像の如き舊物は一定の處に於て燒棄し撰寫に代ふるを例とせり。從つて內地にありては往々六七百年前の影像を見るも、朝鮮にては三百年前のものすら希覯とすべし。是れを一般の古文書記錄に就きて云ふも、內地に於いて史料を探訪するに僅々一週日を費すも行李に充つる程の收獲あるは珍らしからざれど、朝鮮に於ては一箇月二箇月を費して獲る所甚に寥々數ふるに足らざるなり。唯自然に放任し破壞に委せて尙ほ殘存せる石造の遺物は粘蟬碑を始め古物の儼存するもの少からずと雖も、そは固より保存せんとして保存せられたるに非ずして、破壞し難きが爲に雨露に曝されて僅に殘存せるもの、それすら往々破却を免れざるもの少しとせず。鮮人中或は往昔倭寇の破却を傳ふる者あるも、證なし。又朝鮮に於ける三百年前の古記錄に乏しきを以て壬辰の役に歸するものあるも『史庫』に於ける壬辰前の『實錄』其の他の記錄の一個存する反證あるのみならず、却つて朝鮮の吏僚の手に依りて散佚せりと信ずべき理由あり。そは壬辰前に於て彼等が、官庫に藏する記錄の上紙を用ひたるに著目して盛んに盜用する者あるを指摘し、此の儘放任せば後世に至り史料の闕然として徵すべからざるに至らんとの王制の出でたりしことあり。

生別死別

(不許無斷興行)

服部硯月

第十七 再び迷宮に

酒井は玄關まで出て、見送りに出た芳三郎を小蔭に呼んで斯う話しかけた。

『少しお話申上げたい事が御座いますが……』

『左樣ですか、何ならお座敷の方に參りませう』

『いゝえ、邸上さんのお耳には餘り入れ度く御座いませんから』

『では向ふのベンチに參りませう』

芳三郎は先達に立つて初膝のベンチに行つた。

『さア何卒!』

『お邪魔致します』

『どう致しまして。まアお陰樣で本當に病人がどんなに助かるか分りません』

『さア其の件です、私もうつかりして彼の新聞のお話を致しましたが、晃さんのお讀みになるのを聞いて、不圖想ひ出した事が御座います』

『では其の犯人でも御存知で……』

『いや、それが其の却つて反對で……何だか高飛びしたのが犯人ではないやうな氣が致しまして』

芳三郎には頗る夫れが意外であつた。

『へゝ? それはどう云ふ理由で……』

『世間には似た事が幾らもありますから、固よりそれと斷定は出來ませんけれど、其の嫌疑者と云ふのが千圓の債券に當つたと吹聽しておまけに高飛びしたとあります。千圓の債券に當つたと云へばどうも文部省にゐた小使の清水と云ふ者に話が似て居ります。清水だとすれば千圓の債券は本當に當つたのです。朋輩が餘り驕れ〳〵と責めるし、千圓もあれば小使でもあるまいと自分から退いて、何でも夫れを資本に一儲け仕やうと地方に出掛けたと云ふ事です、金額が百越したと云ふところから高飛びをしたと云ふ事で、おまけに其の職を罷めた時期が事件の火の手の上つた間もなくでしたから、どうもさうでないかと想はれます。若しさうだと又更に證據不充分の元に歸らんかと思ひまして』

『成程お話を承はれば御尤もです、やはり寃罪は雪げませんかね』

『併しいづれは雪けませうが餘りにお悅びになるので萬一間違つたら申譯がない樣な氣が致しまして……此儘に歸ることも心に咎め、鳥渡おことはりして置きたいと存じまして、お手間を執りました』

『なんの間違つたところで、貴郎のお惡いと云ふ事でもなくそんな心配は要りません、明朝井上君とやら云ふ刑事を尋ねて見ませう、何とか消息が分りませう』

『お邪魔を致しました、それでは御免を蒙ります、御病人樣によろしく』

『有り難う御座います』

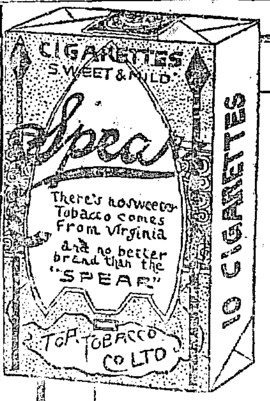
芳三郎は門まで送り出した。

爆彈事件に關する嚴正批判及滿鮮當面の政治經濟問題滿載の十月號

朝鮮公論

爆彈事件に關する嚴正批判 中央諸名士
▲爆彈事件と朝鮮統治……法學博士 山脇玄
▲徒らに兄弟の鬩墻を已めよ……高橋是清
▲雨降つて地固まる……第百銀行頭取 池田謙三
▲妄動を已めて一等國民たれ……興銀總裁 土方久徵
政界の現狀と生活……文學士 三宅雄二郎
▲絕對獨語……本公論餘滴
▲過激思想に對應策……東洋大學教授 高島平三郎
◆漫言……◆球中夜話
▲東拓移民と會社方針……東拓庶務課長 吉田英三郎
▲最近の支那經濟……於燕南 長谷川生
爆彈事件と朝鮮人の無自覺……社說
▲湖南巡遊記……綾部生 ▲歸省……藤沼武男
▲蒙古視察旅行記……朝鮮銀行員 菅生
▲鮮人の僞らざる告白 剔抉されたる騷擾事件
▲舊人を送り新人を迎ふ……有馬易水
爆彈投擲の一刹那……重傷者山口大阪每日特派員の直話
▲泌尿器の話……醫學士 ◆兩兒病む……節軒生
◆京城商藝風聞錄 ◆あくび後……生
▲江華島……芦上山人
▲西比利亞の友より ◆かれまつば……素破拔生
▲鬼談怪語……五坡樓主人
▲來年の米を如何にするか……不二興業專務 藤井寛太郎
爆彈事件 やられたと彼は青い顔をして叫んだ……石森胡蝶
購讀申込所 京城 朝鮮公論社 振替五七七番
定價一冊四十九錢 六冊前金郵稅共貳圓 全國書店に在り

黎明講演集 朝鮮問題號 再版
朝鮮統治改革の四要求……吉野作造博士
自らの良心に歸れ……廉生法學士
朝鮮問題の背景としての形式主義……內崎早大教授
サーベルの同化政策……木村早大教授
朝鮮は軍閥の私有物に非ず……福田博士
繼母根性を去れ……阿部教授
一冊廿八錢(郵税金四錢) 東京京橋南町 大阪三休橋南 大鐙閣 振替東京三六一八番 大阪二七五五番



東亞に最善の煙草あり
其の名は即ちスピーア
已に批評は盡きたり
悉く驚嘆の聲となれり
定價 金拾貳錢
東亞煙草株式會社

御染物の好時期
御紋附袴は高島屋
髙
公私共に御使用として尙ばれ候御紋服御調製品は技工熟練者匠園 寫この髙評を博し候高島屋專屬工場にて尤も堅牢入念に御染可申御袴地其他呉服類一式當出張所に取揃居候間御染物の好季節の此際電話又は御來店にて何卒陸續御用仰付被下度奉希上候
京都・東京・京城南山町三丁目・大阪・神戸
高島屋呉服店出張所

一ヶ月で卒業出來る 寫眞術 通信教授
▲娛樂の最上營業又は就職の近道としては最も收益多き絕好の技術で實地的通信教授法に依り僅少の費用にて僅か一ヶ月間に卒業せしむ尙此際入會者には特典を與ふ 自宅にて自由に練習せし希望の者は往復ハガキで申込次第會則を見本進呈 東京市青山六 中京寫眞術傳習會

法人登記公告
高浪沖金融組合登記事項中變更 大正八年九月拾五日理事野村勝三郎解任同日長淵郡長南面高浪浦里百四拾九番地田辺正人任命就任 大正八年拾月六日登記 京城地方法院長淵出張所

自動車
… 東京自動車學校 大阪市南區 大阪自動車講習所 …

新 八千圓 七 六千圓 十 四千圓 三 二千圓 … 七三回 五通金に付五圓 拾通組 無料 保管證券 附各債券 小尾兩替店 振替大阪九四一四番

自動車界の寵兒
ページ自動車
最も古き經驗を有し好評嘖々眞に信ずべき美麗なる自動車
PAIGE

ページー
內外興業株式會社自動車部
本社 東京麹町有樂町一ノ五 電話本局(二二八八・二一五〇・四八六)
支社 大阪堂島仲一 神戸北長狹通 門司東本町 京城長谷川町
出張所 大連大山通

京日案內
店員入用 … 女事務員採用 … 西村商會 … 內地人女子 … 總督府印刷所 … 用車輪新荷着 … 永德商會 … 御宿下宿勉强 … 三好 … 店員入用 … 安藤 … 店員入用 … 吉門商會 … 乳母入用 … 更科支店 … 店員入用 … 島田忠 … 外務社員採用 … 八千代生命 … 高級外務員採用 … 太平生命 … コレラ豫防藥 … 御袴專門 … 山崎袴店 … 柳行李革鞄專門 … 但馬屋 … ほねつぎ … 柔術道場 … 店員入用 … 木村 … 青木鐵之助 … 平家 … 電話賣物 … 毛皮なめし … 年金恩給 … 江州屋本店 … 恩給立替 … 西村商會

英政府遂に讓歩
鐵道大罷業全く解決す

英國鐵道罷業は政府側の讓歩に依りて全く解決したり其の賃金は明年九月まで現在の給與を据置くこと、なれり(倫敦電報)

鐵道罷業全く解決

公報に曰く鐵道罷業は解決したり其解決條件左の如し
(一)現在の賃金は一千九百二十年九月末日迄据置をなすこと
(二)物價が戰前に比し十一割の增加を示す限り成年鐵道使用人の賃金は一週五十一志を下らざること
(三)使用人は六日午前六時より就業す(倫敦電報)

米國罷業納らん
公然罷業者側の失敗に歸して

米國鋼鐵業勞働者罷業は餘燼下火となれり罷業者側の失敗にて一先づ納まる可く鋼鐵同盟罷業者の如く重要ならざるも米國全體に於て種々の罷業絶えず現今新育のみにても印刷工、ピアノ製造人、造船職工等三萬の職工罷業し居れり勞働者の計算に依れば本年一月より九月末までの罷業同數は二千以上にしてその損耗高は勞働者側は賃銀に於て二千五百萬弗、雇主側の生產高に於て一億弗を失ひたり(紐育電報)

米國と白國皇帝

白耳義國王アルベール、皇后エリザベス兩陛下紐育に到着せられ一萬の群集歡呼して奉迎したり外國の元首に於て歡呼せられしは之れを以て嚆矢とす(紐育電報)

米國の人種騷動

人種騷動續出しネブラスカ州オハマにてはウツド將軍の兵力に依り僅に治まりたるもアルカンザスに於て人種暴動あり一日より二日に亘り死者十四人及び多數の負傷者を出せり(紐育電報)

ダヌンチオ軍活動

巴里に於ける塞爾維代表者はダヌンチオ氏部下の飛行機がダルマチヤ地方に於て小冊子を撒布し十分なる兵の募集の上ダルマチヤを略取すべしと宣言せりと報ぜり曾てポーラー港に於て墺國軍艦を擊破したるリゾピオ提督はダヌンチオ氏の率ゆる侵入軍の海軍を指揮しつゝあり(巴里電報)

白耳義國皇帝
米國に於ける御旅程

白耳義皇帝、皇后兩陛下は紐育に到著せられたるが米國滯在は二十六日間の豫定にて大西、太平兩洋岸迄旅行せられ華盛頓には三日間滯在の豫定なりと、白耳義皇帝、皇后兩陛下は大統領ウイルソン氏病氣の爲めボストン及びバフアロー兩市を訪問したる後加州に赴かれ十一月一日まで同所に滯在すべく其後の旅程は未定なり(華盛頓電報)

米大統領容體

米國大統領ウイルソン氏の病氣は稍良好に向ひたるも殆ど前日と同樣なりと大統領ウイルソン氏附添ひ醫師グレーソン氏の發表せる容體書に依れば當分大統領の眼が敵ふ筈なるが神經著しく亢奮せる大統領が再び事務を見んとすることを防止するは最も難事なりグリーソン氏は[illegible]と(紐育電報)

海軍軍醫二名とも協議したり大統領の治療は醫師一名にては間に合はずと傳へらる(華盛頓電報)

支英米と上海財界

五日上海より長崎に入港せる筑後丸船客の談に依れば過般來上海に於ける支英米三國合同組織を以て支那經濟界に一大飛躍を爲すの計畫ありとの噂賴りなりしが愈々事實となり本月より上海商業聯絡にエービーシー協會なるものゝ設立せられ是迄[illegible]一帶に於ける日本の利權を奪取する意氣込にて活動を始めたるが資本額は莫大なる模樣にて官憲及び實業家の重なるもの加入し居れり(長崎特電)

デニキン軍の壓迫

南部露西亞に於ける今週中の顯著なる事件はデニキン軍がクルスクを越ゑて急速なる前進を遂げたることにして同時に同軍は殘餘の戰線の大部分に亘りて進出を繼續しつゝあり、デニキン將軍は今や莫斯科を距る僅に約二百四十哩の地點に在て莫斯科はデニキン軍の進入を恐れ戒嚴令を布告せりと噂せらる(莫斯科電報)

獨墺委員出席

獨墺勞働會議には獨墺兩國委員も出席すべく決定せり(紐育電報)

オ政府を承認

米國政府はオムスク政府を承認したり(紐育電報)

阿弗汗の再亂

阿弗汗斯坦又復騷動勃發せりと(紐育電報)

日本借款未だし
前渡借款行惱て英公使の反對

銀行團方面の消息に因れば二千四百萬元前渡し借款は目下行惱み中にて諾否何れとも決せざるが其重なる原因は英國ジョルダン公使の反對あるに依る而して四國團の借款若し成立に至らば當然米國と支那と關係深き國をも加へたる全般的の國際間の關係に移さる可く若し又是が不成立の際は始めて日本其他何れの國にても單獨借款締結し得可し故に昨今外間に喧傳する日本單獨借款說は尚其時機に達し居らず(北京電報)

南北を調停せん

馮國璋氏は南北調停の任に當るべしとの說あり(北京電報)

山東問題否決か

米國上院に於ける山東問題修正案否決されんとす(紐育電報)

西伯利軍戰報
我オムスク軍の活動と敵壓迫

陸軍省發表、我がオムスク軍は形勢日に有利にして過激派軍の敵を壓迫してヨホボトホウル河の線に達せり彼右翼トボリスク方面に於ては同地北方二十二キロメートル及び東方約三十キロメートルに緊迫するに至りたり(東京特電)

三菱と支那借款

支那政府は三菱と二千萬圓の新借款を交涉中なりと(東京電報)

り來る十二日出帆の信濃丸にて出發の豫定なりと(奉北特報)

兩煙草合併說

新設中細亞煙草會社は東亞煙草會社に合併せんとの說あり(東京特電)

御下賜金支途
總督府にて議定中

本年八月に於ける朝鮮暴風雨被害に對し今回畏き邊より金一千五百圓御下賜の御沙汰ありたる事は東拓所報の如くなるが總督府には未だ詳電達せざるも右は本年八月三日及び四日に亘る慶尚北道永德郡内に於ける暴風雨被害死者六十名傷者十七名行方不明一名流失家屋百戸以上全潰家屋三百戸以上並に慶尚南道蔚山郡内に於ける死者十四名負傷者六名其他流失家屋及び全潰救恤金にして公電到著を俟つて總督府は夫々分割救恤方法を講じ以て聖旨に副ひ奉る可しと

桝本氏と顧問

桝本勞働代表者の顧問は左の如く決す(東京特電)

顧問
東洋燐寸姫路工場 木戸良哉
吳市助役 武藤七郎
北海道石炭鑛業會社 岡澤榮治
富士紡績程ヶ谷工場 佐藤孝平
大阪鐵工組合 堂前孫三郎

囑託
向島天野工場 大島義嗣
砲兵工廠 五木田慶三郎
吳工廠 山田友一
元アドヴァータイザー記者 樋口治平

鎌田大使一行

鎌田大使一行は十日午後三時橫濱解纜の伏見丸にて米國へ出發すべしと(東京特電)

明石總督消息

明石臺灣總督は健康回復し官邸にありて政務を見居れるが尚此の際十分靜養をなす爲め暫く別府溫泉に轉地療養することゝな[illegible]

立花軍司令官

立花軍司令官は七日午前七時奉天發同日午後十一時哈爾賓へ向け出發の筈なるが浦鹽軍司令部との重要事項協議の上再び來哈し吉林其他視察及び軍隊の檢閲を爲すべしと聞く(長春特電)

森林鐵道
增資の議
二千萬圓に

國境森林の伐採權を獲得せる會社の設立を許可されたる朝鮮森林鐵道は株式二十萬株の引受けも略決定し内一萬株を公募に附する事となり居りしが近來は社に關係深き東拓の京城在理事松平直平子並に在京城發起人津田鍛雄氏等の間に資本金一千萬圓にては少額につき二千萬圓に增加せば如何との議出で東京の發起人總代大川平三郎氏其の他の有力發起人並に東洋拓殖會社に右の趣きを打電し目下協議中の模樣にて此際二千萬圓となす事とならば更に發起人全部の調印を求め更に其筋に出願の事となる模樣なれば從つて時日の遲延を來しその成立は或は年末となるべし而して資本增加必要論の根據を聞くに森林鐵道は咸興より長津を經て惠山鎭に至る[illegible]十二哩並及び長津より破れ中北江界を經由して滿浦鎭に至る[illegible]十哩合計百八十餘哩の蒸汽鐵道にして軌間四呎八吋の廣軌式たり然も比較的工事困難なる山間部に敷設せらるゝものにつき工費の如きこれを他の組織に比すれば多額を要し到底二千萬圓の少額を以てしては全部の敷設不可能にて遠からず資本金增額の必要來るべきにつき創立當初より資本を增し置く方有利なりと云ふにある如し唯會社創立の遲延並に總督府の許可を得たるのみの資本金を變更する事は如何との意見もある模樣につき目下の所增資問題の前途は俄に豫測し難し

朝鮮來年度豫算
一億圓を突破す……經費激增す

大正九年度朝鮮總督府特別會計豫算は去月下旬以來數次の豫算會議を重ねつゝありしが愈々四日の會議に於て終了せるを以て目下總督府司計課に於て之を大藏省に提出の形式に製作中にて本月中旬河内山財務局長攜帶の上東上、拓殖局を經て大藏省に提出夫々說明の衝に當る筈なるが來年度の總豫算は警察制度改正の結果警務費の大膨脹を始め各般の施設に於て積極的に出づる方針なるが爲め總て經費の增加を見、又物價騰貴に依る經費の自然膨脹其他官吏手當の增額等に依り著しき膨脹を示し總額一億圓を突破するに至り大正八年度豫算に比し約三千萬餘圓の增加にて之を朝鮮特別會計設置の年即ち明治四十三年に比すれば實に八千數百萬圓の增加なり而して歲入の方面に於ては、稅收入增加官業及官有財產收入等の增大すべきは勿論なるも一方關稅改正の結果關稅收入減を來す等の事あり斯くの如く異常に膨大せる支出に伴なふ能はざるや明白なり總督府は之が塡策として或種の新施設を行ふ外大部分は一般會計の補給金に仰ぐ可き事となり即ち大正三年以來漸減し漸く本年度に於て實現を見たる歲計獨立の逆轉を見るべき次第なるが總督府としては財政獨立の當然と今日は時勢の急轉と共に著しく事情を異にし今日臨輿論を云爲するは執らざる所にして識政更新の秋敢然歲計獨立の逆轉を行ふ事となりしものにて此議[illegible]

學校組合會議
諸案全部可決

京城學校組合にて六日組合會議を開き左の諸案を附議せしが何れも滿場一致にて原案通り可決せり

◉議案第一號
京城學校組合給與規程第九條を左の通り改む
組合吏員幼稚園保姆は勤續在職一年以上に至らざれば增給することを得ず但し六級俸以下の者は此の限に在らず
第十條中『囑託員、雇員及幼稚園助手の增給停年及增給率に付ては國費支辨の囑託員、雇員の例に依る』を『大正二年朝鮮總督府訓令第六十一號朝鮮總督府及所屬官署傭人規程』と「國費支辨の給仕小使其の他傭人」に改む
附則
本規程は大正八年十月六日より之を施行す

◉議案第二號
京城學校組合授業料及保育料徵收規程第一條中『五日限』を『十五日限』に改む
附則
本規程は大正八年十一月より之を施行す

◉議案第三號
組合費增額賦課
大正八年度京城學校組合戸別割賦課別紙の通り增額賦課せむとす
理由
物價の昂騰に從ひ學校組合の負擔に屬する學校職員、吏員其の他に對する人件費は增加し到底之が財源は到底他に求むるに由なきを以て已むを得ず別紙の通り組合費增額賦課せむとす

等級	臨時賦課額	調定人員	臨時賦課總額
一	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一一	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一二	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一三	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一四	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一五	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一六	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一七	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一八	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一九	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二一	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二二	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二三	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二四	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二五	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二六	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二七	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二八	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二九	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三一	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三二	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三三	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三四	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三五	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三六	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三七	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三八	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三九	[illegible]	[illegible]	[illegible]
總計			[illegible]

此九割七分收入　貳萬九千九百四拾貳圓也

◉議案第四號
大正八年度京城學校組合歲入出豫算追加
別册の通り追加す
歲入
一金二萬九千九百四十二圓　經常部追加
豫算計金二萬九千九百四十二圓
歲出
一金二萬九千三百八十二圓　經常部追加
一金五百六十圓　臨時部追加
計金二萬九千九百四十二圓
歲入出差引殘金なし

海軍大講演會開催

舊獨潛水艦仁川入港を期とし海軍思想普及の爲本社は同艦乘組將校並に派遣將校に乞ひ左の大講演會を開催す傍聽隨意歡迎

一、時日　十月九、十兩日午後四時半開會
一、場所　若草町西本願寺
一、演題　歐洲戰亂に於ける帝國海軍の作戰計畫と權威(派遣將校)
潛水艦に對する一般講演及潛水艦廻航苦心談
地中海に於ける帝國驅逐隊の苦戰(以上乘組將校)

主催　京城日報社　每日申報社

吉林市場金建

吉林市場取引は從來留及び吉林票を以て取引行はれつゝありて更に金の需要なかりしに大正六年末露貨暴落の結果留建の輸入品は俄に金建に變更し從つて吉長線に於ては運賃其他に金の受入を爲す等金の需要を激增し大正七年七月に入り取引所に於て金の現物相場を發表すると共に[illegible]となり更に本年五月頃より準備中なりし金先物取引も財政廳局の許可を得て愈々九月二十八日より開始せり而して當日の出來高は開市二十三吊二百文(對一日)散市二十三吊六百十文(同上)受渡明日一箇月出來高十萬三千圓なり

經理定期檢査

第二十師團經理定期檢査は七日午前八時半より步兵第四十旅團司令部に於て實施し芝田經理部長は師團長に隨へ精査し奧田旅團長は之に立會したり又八日午前八時半より引續き師團司令部の經理[illegible]を實施す

仁川正副會頭

七日仁川商業會議所會頭選擧の結果十二票稻田勝彥、八票白神專一、二票吉田秀次郎氏にて稻田氏會頭に副會頭は十八票丁全國、十二票白神專一氏にて丁氏當選したり(仁川電報)

林業株式會社

京城在住原勝一氏他十七名發起人となり資本金二百萬圓を以て豆滿江林業株式會社を企圖し既に其筋に對し許可申請の手續きに及びたり同社の事業目的は造林一般木材の伐採運材製材及販賣パルプ等の製造及び賣買鐵道枕木燐寸軸木製造等を行ひ株券は額面五十圓四萬株中發起人が三萬株を引受け殘餘の一萬株を公募す可しと

三井人參會議

三井物產京城支店にては人參に關する會議を開く事となり支店長室にて七日より開會せしが十二日頃まで繼續すべし尚ほ列席者は支那主要地支店の人參係なりとす

東亞煙草

西伯利に於ける東亞煙草の需要は昨年來急激に增大を來し同社營口工場は兩方面の註文に應じ切れざる模樣なるがオムスクのみにても最近一箇月十萬圓以上の註文あり

長安坪被害程度

東拓の長安坪開墾地は今夏出水の爲め堤防の決潰を見たるが減水速かなりし關係上被害存外輕微にて結局の米收は前年の千四百石に比し本年は一千二百餘石を得べし

人事消息

△大橋恒藏氏(平壤商業會議所會頭)七日入京不知火へ

鳥瞰錄

先頃宇都宮守備司令官に轉した前の龍山旅團長内野中將は碁に於て田舍初段の實力を有し少壯軍人中戰ひを挑むものあらば双手を擧げて歡迎し片つぱしから例の蠻勇戰術を發揮して難倒したものだ▲是に稍對抗し得たものは師團の大山法官ぐらゐのものだ▲されば其仇は懊も惜し懊しの格で將軍暇ある每に大山君、お使者を立て『いざ一石!』と挑戰し三度に一度は敗ても龍山陸軍部内に斷然稱へてゐたものだ▲ところが或日軍參謀山本大佐と烏鷺を鬪はすこと田舍初段の蠻勇戰術はメチャメチャに叩き壞され何回やつても到底勝つ見込みなくさしも猛け嫌ひの將軍も參謀の前に閉口し『到底君には叶はんよ』▲兎にも角にも龍山一の稱ある將軍を敗つた山本參謀の腕の冴は確なものだが參謀容易に石を握らず碁は時間つぶしだから若い者のする事ぢやない』と嘯いて居る▲[illegible]二十貫師團唯一の堂々たる風采の吉永參謀は嘗て終日カスミを張り雀二羽を捕獲して以來カスミを斷念し釣り竿を持つ事にした▲釣りは修養になるからと釣り黨を勸誘し獎勵してゐたが先頃の日曜に一竿の楓月を秋江に垂れ太公望を氣取てゐたが是も終日にして雜魚一匹も掛からず爾來會ふ人每に『釣なんか消極的だあんな事は決してするもんぢやない』

鮮滿片々

木浦港貿易額

九月中の木浦港貿易額は輸移入四十萬五千餘圓輸移出六十四萬一千餘圓にて前月に比し輸移入に於て十萬三千餘圓を增加し輸移出に於ては七十四萬三千餘圓の減少を示した減少の原因は米の不足の爲め米の輸移出額激減したるよし(木浦)

晝間電力供給

木浦電燈會社では豫て晝間電力供給開始の計畫あり最近愈々電線到著すべきを以て多分本月廿日前後迄には其供給開始の運びに至るべく各精米業者其他石粉製造、鐵工所、印刷工場等爭つて其供給を申込て居る(木浦)

釜山商專移管

釜山學校組合は四日午後二時より開會者席上香椎組合議員は組合議員一同に代りて釜山商業專修學校移管に關する建議案を本田府尹に提出した其趣旨は釜山は年々學校組合費負擔者の少き割より見れば學校教員を要する子女の增加率著しく到底釜山府民の負擔に堪ざる所であつて商業教育は倍々緊要を度を加へるを以て總督府立か乃至道廳所管の經營に移し萬全なる商業教育機關たらしめんと云にある(釜山)

內地移牛成績

去る三日內地行立神丸で移出した咸鏡南道牛は北百八頭此價格五千七百餘圓で其の仕向け先は大阪堺敦賀地方である次航は來る十四五日頃の見込で既に內地に於ける一般に農繁期に入つて居るから自然購買力も減少すべく從つて次航の生牛移出は稍閑散の見込みである(城津)

穀物組合創立總會

鎭南浦穀物商組合では四日商業會議所にて創立總會を開催し規約に就て議し許可決する所あり次いで組合長理事評議員の選擧をなし其結果組合長に新井新藏氏副組合長に香孝健氏當選し評議員は內地人側より六名鮮人側より八名選定された(南浦)

鞍山電話盛況

鞍山電話局の加入申込は一日二十個二日四十二個ありて締切明日迄には三百四五十個を算すべき模樣である豫算としては本年度に五十個を計上しあるのみで到底全加入者に滿足を與ふべくもない而も五十個丈け架設するは甚だ不公平である故に可及的工事を急ぎ來年度初めに於て開設の計畫である(鞍山)

旅順禁止解除

旅順に虎疫發生の爲め旅順港內鴨緑漁撈採藻を禁止せるも三日から之を解除した野菜果物は四日から解禁された(旅順)

四ヶ月卒業(通信教授)
男女事務員養成
本所は多年講義錄にて甲種商業學校程度に於て銀行會社事務員を養成し各所に就職せしめつゝありしが今や急速なる增員の要求を滿すに由なく今回は卒業期限内と雖も勉強次第何時にても卒業せしめ直に就職の特典を與ふ自宅にて餘暇に勉強し獨立自活の道を立てんとする小學卒業程度の男女はハガキで申込次第規則書並內容見本を進呈し就職の手引其他諸種の特典を與ふ
東京青山南町 銀行會社員養成所
本會は高楠博士を會長とし專ら

小學教員
師範入學
志望者の準備講義錄を發行し多數受驗者中必ず合格の榮冠を得せしめんとす今回會員五百名限募集諸種の特典あり入會希望者は申込次第會則見本進呈
東京青山南町六 日本師範教育會

交際上手
談話演說の洒落
▲演說挨拶の奥義
▲交際會合の秘訣
[illegible]
東京 京文社

職業
特約店募集
三榮本店

最新刊
西伯利亞一班
須磨子
子供の性質
朝鮮大地圖
大阪屋號

太陽 十月號
文章世界
十月號

東京市本石町 博文館

大正九年御壽寶
大正九年農家曆
愈出た何人も來年の開運法は
大募集
發行所 東京本鄕區湯島 神誠館

國際勞働會議
勞働協調主義
勞働問題解決策
米國へ
何等の醜態
思ひ出す儘
新倍發と對支政策
智識階級の立場
國際的正義へ
時代錯組の日本
貴族の新運動
愛蘭問題
平和克復の日
今秋勞頭の二展覽會
貿易政策
住宅方法
露都女兵士と
旅券の使者
青白い焔

秋季特別號
議論と感想
岩野泡鳴論
リズム論の新提議
思想と藝術
文藝と勞働生活
技巧の內容
新秋美術界の收穫
歌壇の現狀
社會改造と文藝

創作八篇
ダンスのわな
熊の友
良友惡友
第一日
轉々
秋の書過ぎ
無心に
迷へる魂
風雨の日
群集と個體と自我
詩人の散文
翼なき天使の物語

…を理由のなりし…劇を告ぐるに至れり、政府、皆る所那邊に在るや測り難し、此際…の必要に遭遇するなきを期す可…代表委員が除外本位を以て…からず我…讓對策…
…會議に於ける五個條の…案全部を承認せしむることに…張するもの可なり要するに…

宮地副官と其愛馬

馬事思想の宣傳(プロパガンダ)(一)
蘭谷牧場を視察して
洗浦驛より蘭谷牧馬場まで 宮地師團副官の談

十月三四の兩日第二十師團戰鬪分隊野外作業演習員が總督府勸業模範場洗浦牧羊支局及び蘭谷牧馬場の見學をすると聞き自分も蘭谷牧馬場の

見學丈けに 參加した此の見學は自分の爲に非常な利益を得たばかりでなく種々な所感が湧いた。蘭谷牧馬場は何處にあるか廣く世に知られて居ないのは甚だ遺憾である。京元線の北三分の二江原道管內の洗浦驛から東方三里に位置せる半原である併し自分とても見學せるは今回が始めてである三日午前龍山驛發六時半洗浦驛に著し同牧羊場主任沖非君の厚意に依り特に

乘馬の提供 を得單身馬上の客となつた當日獸醫分團詠村獸醫正一行は午前より洗浦牧羊場を見學し約二時間前此地を出發蘭谷に前進したとの事であつた自分を乘せた馬は體尺四尺二三寸巾廣く一見頑強なる處は確に蒙古馬である回顧すれば十有餘年前日露戰役當時

斥候勤務中 蒙古馬賊を射殺して捕獲した馬に似てゐるので今昔の感は油然として湧く此の馬あり三里の道を一飛びと輕視して出發した然るに此三里は中間に白登嶺と云へる洗浦驛に比し二千尺の高地を越さなければならぬ登り降りが各一里半である馬の速度を用ゆるの餘地は山麓前後各僅に二千米突に過ぬ新道ではあるが二等道路で

岩石が多い 之が蘭谷牧場を人に紹介するの遲き原因であらう自分は出發間もなく夜に入りしも陰曆十日の月を踏んで進んだが爲大なる苦痛をも感じなかつたが三里の間出逢つた者は牛車三四輛のみ峠に達した時は夜はもう八時を過ぎてゐた叢雲の黑は

月を隱して 四邊朦朧下馬少休窃かに斥候勤務の感に堪へなかつた『登りつめ降りて馬にも纏を云ひ』などゝ自問自答しつゝ東側下の坂半里は牽き馬をした行進中柏中を落し終に見付からず『落し物探る途端に月雲』は當夜の實感であつた、九時卅分宮隊里に達した此處は三四十戶の小部落で牧場の西側入口にある間地の

村端原中に 新設せる牧馬場事務所を訪へば詠村獸醫部長等先着しあり場主男澤君以下の歡待を得て此事務所に一泊した隊里には未だ內地人の宿屋は設けられてゐない此牧場は大正五年に建設着手し六年を第一期一年度とし當八年を以て第一期計畫を終了する筈であつて來客は未だ多くはない開場以來約三箇年間馬政局長官

淺川中將を 頭に主なるものは五六十名に過ぎない本年は吾等一行を加へて十五六名近く約二十人の一團が來訪するとの事であつた總て是等の來客は事務所又は附近の官舍に分宿せしむる計畫で却々周到なる設備がされてある大いに千客萬來を希望するとは場主の話しであつた。

壯烈なる殉職
身を挺して上官の危急を救はむとし 今野上等兵溺歿
城津內鮮人擧つて醵金し公園に記念碑建設

城津町居住內鮮人は昨今擧つて同地公園に一大紀念碑を建立せんと奔走中なるが右に就き近頃美しき物語りあり事の起りは此程の豪雨に際し城津市內を貫流する

漢泉川氾濫 し忽ちにして家屋に浸水し危險は刻々と迫り來れるを以て同地警察署長は急を同地派遣隊長高橋大尉に告げ之が救助方を要求し來りたるにぞ依つて高橋大尉は中隊(步兵第三十二聯隊第二中隊)を非常呼集し直ちに兵員の一部を以て漢泉川橋梁附近に居住の

內鮮人救護 に從事中步兵准尉柴田順四郎氏は激流の爲め顚蹶し見る／＼濁流に捲込まれむとするを見るや步兵上等兵今野喜三治(大正六年兵)は進んで之を救助すべく中隊長の許可を受くると同時に身に救助綱を纏ひ／＼放然放擲せる經驗を物ともせず飛び込み柴田准尉を救助せんとしたる折柄流下せる

木材と衝突 する處となり爲め激流に浚はれ終に河中に溺沒したり中隊にては擧つて是を引上げ大約一時四十分間人工呼吸心臟按摩カンフル注射等あらゆる應急手當を行ひ蘇生に努めたるも終に永眠し却つて溺れんとしたる柴田准尉は辛うじて流木に取りすがり一命を全うしたり此附近一帶は鮮人家屋多く鮮人中多數同中隊の爲め救けられて

現場を目擊 しゐたる一般鮮人は壯烈なる行動に感動し內地人と呼應し葬儀委員を編成し葬儀當日は全邑業を廢して哀悼の意を表し數十對の生造花を贈り內鮮小學校生徒は何れも葬儀に參列し同地空前の盛典を擧げたるが更に遺族慰藉の目的を以て弔慰金六百圓を醵出し猶此壯烈なる殉職を

永久に記念 する爲前記の如く公園前に一記念碑を建造せんと奔走中なり道義も人情も頽廢せる今日今野上等兵の行動たるや眞に備へ天をして自ら起たしむべく鮮人一同が擧つて醵金し內地人と共に其壯烈なる最後を紀念すべく計畫せるも道理にして近頃美しき物語りと云ふべし

京元線被害
四五日間は直通不能

既報の如く元山地方暴風雨被害の爲め南大門元山間運轉不能なりし咸鏡南部線は四五日開通の見込なしと云ふ

清津の疫虎
市況不振

虎列拉發生以來患者總數九十四名を出し內死亡六十四名全治三名現在收容中の者二十七名にて稍小康の傾向あるも市況は尚不振の狀態を持續せり(淸津特電)

犯人使用の爆彈は
所うした威力を有つたもの

爆彈犯人姜宇奎が南大門驛頭で使用した爆彈は當時樣々に想像され破片並に爆發現場の模樣等に依り夫れ／＼專門家の手にも研究されたが今聞く所に依ると奉天に於ける爆彈事件の夫とは全然異なつて相當威力ある新式の物の由長さ約二寸六七分徑…の金屬製の筒で外殼には…形ち線が刻まれ其胴內は一面の空洞となつて居る內部には硝子管を通して藥品を充塡し其左右には彈片が螺旋狀に突起し雷針の螺旋で卷かれた一端には火藥裝塡口があり他の一端には發火器と安全器とを備へ何方らか蹂仕掛で投下すると同時に爆發と同時に夫等の彈片及び外被の鱗狀の破片が四散するやうに造られた精巧なる物で際には双方を緩めるやうにの由である

秋深し

七日午前十一時 潛艦仁川へ入港
埠頭に群がる觀覽者 先づ港頭に投錨

潛水艦姿五零七の二艦及び母艦夕霧は鎭海より一晝夜航程にて仁川に回航し…航せるも京仁市民の切なる希望を容れて再び仁川に廻航の事となり愈々七日午前十一時怪異なる姿を仁川港頭に現はせり前夜の雨全く霽れて秋色冴わたる海面に艦旗緩やかに靡かせつゝ母艦夕霧の先導にて入港すれば此光景を觀んとて埠頭には人山を築き一隻の汽艇に…府尹松本警察署長平田…觀測所長池田郵便局長等を乘せて月尾島沖に之を迎へ艦は一先づ港頭に投錨著に繫留せ上陸其他驛上の衛生狀態等を調査し午後一時築港閘門を入りて船渠內豫定の岸壁に橫附けせり

戰利潛水艦 觀覽者の福音
八、九、十の三日間に亘りて一般希望者に觀覽券を贈呈す

本社が戰利潛水艦觀覽希望者を募るや申込みは十數倍に上り遂に多數の抽籤外れを出したのを深く遺憾として居つたが本社は再び來らざる此好機を逸せしむるに忍びず海軍當局並に關係諸方面と種々交涉熟議の結果本紙讀者に對し從前の割り當數七百二十名の外更に二千八百名の潛水艦內部觀覽許可を受けたるに付本社は之を八、九、十の三日間に亘り一般希望者に頒布贈呈する事とした、就いては前例に依り抽籤頒布す可きが至當であるが、最早日時に其餘地がないので止むを得ず申込み順に依り交附する事にせしを以て希望者は直接本社へ申し出でありたい尤も八日附の分は當日の集合地南大門驛前本社臨時出張所に於て直ちに希望者に交附する筈である。尚觀覽は六日夕刊所載の潛艦觀覽注意書を熟讀の上參集されん事を希望する

虎疫患者 八千に近し
南鮮最も猖獗

警務局調査に依る全鮮虎疫患者累計は內地人百十一名鮮人七千七百五十四名支那人十四名合計七千八百七十九名の多數に達し內死亡者四千四百十四名現在患者は內地人四十名鮮人二千八百七十名支那人四名にして南鮮地方殊に猖獗を極め六日新患者は一百二十四名を算せり

狂人の妻殺し
斧を揮って慘殺す

府內安國洞七十五番地崔永鎬(三一)が五日午後十時頃自宅居室に於て斧を揮つて一擊の下に妻金容善(三一)及び長女趙植源(一)を卽死せしめたる椿事あり加害者崔永鎬は元來精神病者にて總督府醫院に數回入院せし事あり其後一時快方に趣き退院したる者なりしが五日夕方何處にて買求めしか多量の酒を持ち來り強たか之れを呷り泥醉して居室に入りふとしたる事より夫婦喧嘩を始めたる末頭痛の結果發作的に精神に異狀を來し在合せたる手斧を揮ひ妻金容善の頭部他數ヶ所に斬り付け卽死せしめ更に側に臥居たる無心の長女植源を斬り卽死せしめたる異樣の叫鳴を附近の人々が聞き付け直ちに現場に馳せ付け見れば表戶を鎖しなか／＼開かざりしが內より突然加害者が右手に血の滴る手斧を提げ左手の壜より酒精を飲み作ら出で來るを取押へ鍾路署に急報したるより警官及び醫師急行の上加害者には嚴重なる檢束を命じ死體は遺族に引渡したり

乞食の縊死
七日午前八時頃長谷川町光寺門の高さ四尺位の內格子に住所氏名不詳推定年齡五十五六歲の鮮男が細引を以て縊死し居たるを本町署巡查金光石が發見し同署よりの係官臨檢の上死體は府廳に引渡されたるが此は乞食證にて所々を徘徊の末老年の步行不自由と生活困難の爲遂に厭世自殺したる者なりと

掏摸
慶尚南道居昌郡中里面金泉洞七番地住所不定無職朴萬植(三)は本月一日朝鮮公論社前の空地にて元町三丁目二百六十九番地安錫柱が燒栗屋の前に佇める際に乘じ金九圓餘及び雜品入りの財布を掏り取り何喰はぬ顏にて立ち去りたる後に被害者が感付き追跡の途中南大門側にて尋ねる時本町署警官が折よく通り掛りて應援し直ちに逮捕同署に連行取調中の處七日檢事局に送らる

檢疫告示
湖南線江景其他各地に虎疫發生の傾向あると京義線開城驛に於て檢疫實施の結果同驛以南に向ふ者は多く十歲驛に下車し徒步南行するの傾向あるを以てこれが防止上前者は松汀里に於て後者は土城驛に於て何れも檢疫を施行する旨八日告示を以て發布さるべし

平南の虎疫
漸次終熄す

平安南道內に於ける虎疫は其後漸次終熄を告げ昨今發生患者は極めて減少にして此分ならば終熄明も近かるべく尚平壤府內に於ける虎疫患者も逐日減少し昨今は一名の發生患者も見ざれば是又終熄明も近かるべし

衛生講話
八日午後二時より蓬萊町私立除淫普通學校で生徒父兄及び一般に對して衛生講話會を開催する由府及び警察側も應援して盛大に擧行する筈なりと

新小說豫告
夜の蜘蛛
江見水蔭作

久しく讀者の愛讀を得て居た本紙連載小說『みだれ咲き』は愈々來る十七日を以て完結の筈であるから次回小說としては冒險的興味ある事件を描出するに巧な江見水蔭氏の筆に成る『夜の蜘蛛』を連載することになつて居る。

夜の蜘蛛に就ては種々の迷信がある。それは別問題として、若し晴々しい大夜會の食卓上に、一匹の蜘蛛が落ちて、怪しき綠を貴婦人のブローチに懸けたとしたら、どんなであらうか、更に其の綠を或る何者かの指頭に懸けたとして、此二人の上に特殊の電波を傳へ合つた時には、如何なる波瀾を生ずるであらうか。謎の樣な豫告を怪しむ人は、毎回油斷なく讀了あらん事を希ふ。

金剛山中の新名物
書伯金海岡氏揮毫の「天下奇絕」の刻字出來

金剛山は天下の奇絕なりと古今稱せられたる所なるが今回京城長谷川町書畫研究會の有志等相謀り海岡金圭鎭氏の一筆に成れる天下奇絕の四字を萬瀑洞眞珠潭の磐石に彫刻することとなり表訓寺の住職金明昨和尚との交涉纏り工事中なりしが近く竣工の著なるを以て金海岡氏は舍弟の金聲學士及劉智生醫院長と共に右視察の爲五日發金剛山に向へるが『天下奇絕』の四字は長さ三千尺幅七尺に達し筆力雄健拾も蛟龍の蟠まるが如き觀ありと

緩衝機
投書歡迎

教育者優遇
K・M・生

最も尊き、最も大切なる職業に從事する教育者に現今の社會は如何なる態度を以て接して居るであらうか！現今の社會制度は教員等を遇するに、精神的、物質的に冷遇して居るのではなからうか！而も人々は常に外見の裝しきを以て一種の冷笑を以て迎へるのではなからうか！

近時、デモクラシーとか勞働問題とか、稍々雜多なる思想がより論ぜられ、我が國民思想は今や…化しつゝあるので、吾人の政府及び識者は是れが矯正…決の根本義は國民の教養であると思ふ。國家の基礎たる第二第三國民の教養！余は教育者たる教師の職務が如何に尊く大切なるかを切に感ずるのである。然るに現今の社會及び人々は如何なる態度を以て教育者に接しつゝあるか！之等は常に困窮と不足とに戰ひつゝ、已の職の尊さを喜び、己の職の大切なるに勵みつゝ、我等は藝術家より、生ある藝術品を造る最も尊き職なりと理想しつゝあるを聞きて誰か感激せざるもの！余は識る人々の反省を促すと共に吾等を理解し其等を尊び以て我國的に教育者を優遇せん事を希望す

京畿蠶種家
老桑 蠶人

內地にては既に早くより各府縣に…組合あり有利に活用せられて居る朝鮮も過去はいざ知らず既に蠶業令が施行せられ何十萬圓と云ふ蠶業會社が創立するに至り而かも他の諸業は大小を問はず悉く同業者結束して何々組合と稱し相當活動しつゝあるは今日獨り蠶種家の組合が中央の當地に出來ないのは遺憾の極みと云ふ可きである。組合として爲すべき仕事は數へ來ると多々あるが要は組合なる途に實現せしめ斯業の一勝機關に進め以て我等當業者の意志を發表したいのである。今日迄の蠶政策は遺憾ながら吾等生產者側は或る意味に於て官廳の措置に不平を抱懷し慊らず思つて居たのである。全羅忠淸兩道及び慶尚北道にさへ蠶種業組合の結成する今、京畿道に於ても早く此組織を希望するのである

運動界
賞牌授與
五日擧行せられたる講道館支部創設一週年記念柔道大會の優勝者に對しては左の通り夫々優勝賞牌を授與せられたり

成年之部 倉田三段、岸岡三段、太田初段、川俣初段、仁科初段、內藤初段、吉田謹三、三浦博、一瀨義雄、早稻田英章、鵜澤吉

少年之部 內田保、松岸虎之助、佐藤三、酒井三郎、目賀田康

特に本社が斯道奬勵の爲め寄贈した賞牌は當日の優勝者左記の三名に授與されたり

園田尙、相澤喜雄、尾崎正一

赤十字社看護婦生徒募集
日本赤十字社朝鮮本部にては總督府醫院委託生徒補缺の爲數名を募集養成することゝなり居れるが入學資格は年齡十六年以上二十五年以下高等小學卒業程度の者志願者は至急本部又は總督府醫院へ申込むべしと尚生徒には月十二圓の學資を給與する外寄宿舍の給與被服等の貸與ある由

將棋虎廼卷(一)
本社囑託 溝呂木六段述

金は五段角は四段飛車六段銀桂の味のあるは步の働きやう

金將は銀程に眼を雜立てる働はしないが陰に陽に王將の保護をして王を右に開ふにも左に開ふにも能く防備の任に當つて此本陣を固める力は飽くまで重的の資格を失ひません卽ち五段の格に相當する所以です

角行と飛車 とは一方の大將分であるから其の懸引は最も大切とありますに同じ大將分でありながら何故四段と六段との優劣の差があるかと言へば畢竟は駒の働きに歸著するのです、飛車は八十一格の將棋盤の何れの桝目に置いても縱橫十六格の働きを有つて居ますが角行は隅の方へ置いては僅かの働きよりか出來ぬ事があります

筋の通る處 は五五の此處へ置けば始めて四方利きとなつて十六格の働きを持ますが外の桝目に置くと夫だけの利道がないから角は四段飛車は六段の格が與へてある譯です。第一番數の多い詰まらぬ者に見える步に初段から九段までの格が有るかといふに之には却々深い意味があるのです、單に一個の步といふても其働きは

十變萬化の 妙を存して、步の働きやうによつて他の駒も活動の妙を盡し得るので或は『繼ぎ步』と云ひ『端步』と云ひ或は『垂れ步』と云ひ、其他我步を切つて仕かける味を殺したり又は五五の步の位と云ひ『步の突き捨て』『步の突き越し』『步の打ち棄』殊に敗步の金の味などは却々趣の深いものです步の突き合など、非常に興味のあるものです

財團法人 電機學校生徒募集
校內生(晝間・夜間)高等科、電氣化學科 一明本科 二明選科 新學期開始十月二十日 規則書申込次第送付
校外生(特殊の通信教授)(普通の通信教授) 講習生 隨時入學許す
東京市神田區錦町三丁目 電話神田三〇一、三〇二

謹告
今般當社代表社員高瀨政太郎死亡致候ニ付代表社員ヲ福永政治郎ニ變更致シ候間此段謹告仕候
大正八年十月六日
高瀨合名會社

十一月 初回 大抽籤 新 一等 七十三回 債券 割增金
八千圓 當り同番四通組買 六十五圓
六千圓 當り同番三通組買 三十六圓
四千圓 當り同番貳通組買 二十一圓
貳千圓 當り一通 十圓十錢
右四通組、三通組、二通組各一組卽九通御買入れの方へ特價提供 百十五圓
郵送料總て當店持 御上申入債券は數に限りあり御買切れ御注文に早く願ひます
勸業債券 貯蓄債券 農工債券 公債 社債 確實保險 利廻 賣買 代金後拂 取扱
各債券賣買 値段表送呈 當業者 往復申込 業書送
大阪南區西清水町大丸西の辻角 竹田商店債券部 電話南四〇三九 振替大阪三〇四七

熊平洋家具は
優秀との
賞讃を受く
京城 熊平支店
電話長三六二四 振替京城一二二五二番

李王家御嘉納品

上等 十五瓦入 一圓廿錢 廿五瓦入 二圓廿錢 四十瓦入 四圓
特製 十五瓦入 一圓五十錢 廿五瓦入 二圓八十錢 四十瓦入 五圓二十錢
京城 太平通り 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

看板はフシノ工舍
サッポロビール專屬 工所京城本町三丁目 電話七三二番

入院隨意 片山內科醫院
京城太平町二丁目七十三(太平町入通り)
片山信夫 電話一九五一番

古本と古樂器買入
京城本町 電話二五二七 振替二〇 ウツボヤ書籍店

鯛ちりよせ鍋
毎朝八時より朝鮮人蔘湯の設備致居候尚新らたに熟練なる料理人を招き仲居も手揃申候に付御來遊願上候
京城本町五丁目(電二貳三七)
海川魚 御料理 仕出し 御會席
權平庵

會葬御禮
十月八日
倉田敏助
親戚友人

盛に流るゝとにせが出來るヨ

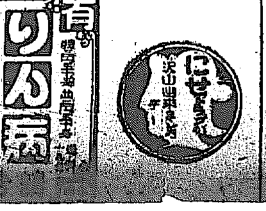
全國の都市に出店あり
龍山練兵場前
釜山大廳町二丁目
元山本町三丁目
平壤櫻町十二番地
仁川宮町二丁目
大邱京町停車場前
開城南本町一八九
晉州大安洞榮町
大連岩代町

京城黃金町三丁目 有田ドラッグ 長電話二八三番
京城南大門外停車場通 有田ドラッグ
にせ物あり 有田 販賣者あれ
百圓

りん病 ばいどく

朝鮮總督府官報

御旅行は必ず店の弊を



みだれ咲き

第百六十七回　島山碧波作　森田久畫

初江夫人と操子の二人が、次郎吉親子を始め牧野とお伊代の四名と共に夜の更けた南輪へ自動車を走らせ來たり勢ひ好く二階堂家の表門を潜つた時は、伯爵家でも一行の到着を待つものの如く、表玄關には燈を煌く燈が輝いて居た。

『やッ……』

醉步蹣跚として藝妓に手を執られながら來かゝつた山中家の執事松川は、此の光景を眺めると化石のやうに立ち悚んでしまつた。

『あら何ですね旦那、早く行きませうよ』

藝妓は松川が自動車中の美人の姿を眺めて心を奪はれたものと信じた。從つて藝妓も金で切賣する彼等の常として、殊更にツンとして松川の手を曳いた。

『確にさうだ』

松川は初江夫人の姿を眺めた。さうして操子も牧野も同じ車內に居たのを認めた、がより以上に驚いたのは出宮の爲めに買收されて居る次郎吉の姿が眼に付いたからであつた。

『何を云つて居るのです』さう氣が多くては私が心配でしやうがないわ』

嬌聲を洩らした藝妓は、相手が依然として其處に佇んで居るから、些かムツとして松川の太股を自暴に抓つた。

『痛いッ』

始めて我れに返つた松川は、醉眼を見張つて暗い往く途を眺め

『實に意外千萬だ……』と、云つて歩き始めたが、どうやら醉は一時に醒めたやうであつた。

『何を云つて居るのよ、人の氣も知らないで？』

藝妓はチヨット舌打ちしてズン／＼歩き出した。

『是れは一思案しなければならない』

斯う獨語した松川執事は、一人何か呟いて藝妓と共に步き出したが、暗は何時しか二人の姿を呑んでしまつた。

門前に斯んな奴が佇んで居たとは夢にも知らぬ初江夫人は懐しい我家の門を潜つた時には、萬感交々寸胸を襲つて我れにも無くホロリと涙した。

『お母様、本當に夢でございますわね』

同じ思ひの操子も二階堂家の門內に入つた時には、無形の感に因はれて胸の鼓動の高く鳴るのを覺えた。

『お歸りッ……』

玄關番が大きな聲で吐鳴ると、奥の座敷から三四名の女中がバラ／＼出て來た。

『お歸り遊ばせ……』

一同が玄關の式臺へ兩手を突いた時、

『あら母さん……』

勢ひ好く驅け出して來て初江夫人に縋り付いたのは龍雄であつた。夫を眺めたお蓮は面目無氣に頭を垂れた。

『おや龍雄さん……』

母が無言のまゝで抱しめて居る弟の姿を眺めると、操子も驅け寄つて其の手を執つた。

『お姉さん……』

龍雄は祖父の伯爵から詳しい話を聽き、一刻千秋の思ひで母や姉の到着を待つて居たが、斯うして互に無事の姿を眺めると人目も恥ぢずに抱き合つて嬉し涙に咽んだ。

『御前様がお待ち兼ねでせう、どうぞお奥へお通り下さい』

流石に老伯は出迎へには出なかつた、執事の篠井が先に立つて一同を促した。

『はい……』

我が呱々の聲を上げた邸、初江夫人は今更のやうに總ての物が懐しいのであつた。

『お母様は？』

何心無くお蓮の姿に目が付いた龍雄は、一同の最後に從ふ妹婦の袖を摑んだ。

名刺　京城 太平堂　電話二七一二番　振京一三六七番

懸賞川柳(五)　劍花坊先生選

秋の風

金筋がされて淋しい秋の風　鎭南浦 花鶴
役僧が忙しくなる秋の風　全北 聖氣郎
放牛がアラ〻ンの歌きいてゐる　仁川 鬼空坊
秋風が吹くと男を思ひ出し　不明 正坊
死んだ子の事思ひ出す秋の風　金泉 罷只坊
倫落の女に秋の風吹かく　京城 六平
質札の反古を見てる秋の風

京日紙上俳句會　〃出句發表〃

▲砧▼

九〇一 萩の垣砧打つ灯や小窓より
九〇二 線引いて將棋さしけり砧盤
九〇三 手代りて砧を休める砧かな
九〇四 結んだる夢は砧に解かれけり
九〇五 砧聲今いづこへか去りにけり
九〇六 月の夜に星まで響く砧聲
九〇七 砧打つ月に陰陽の響あり
九〇八 叩かれて艶につやます砧哉
九〇九 遠近の砧の拍子面白し
九一〇 觀月の興味を添ふや砧なり
九一一 潮ひた／＼もやひの夢よ砧に落つる
九一二 砧たえ／＼送り來りし衣の香
九一三 砧打つ拍子に合はす子守歌
九一四 手振よき下女の砧や自慢顔
九一五 歌も早や靜まりはてゝ砧かな
九一六 亡き妹を砧で思ひ出す夜かな
九一七 砧打つ我影壁に淋びしめり
九一八 砧打つ音ひゞき來る湖畔か
九一九 月落ちて砧身に沁む醒め心
九二〇 砧せむ御衣もおはさで神寂る
九二一 明け方や右舷の小島砧打つ
九二二 入る船に一灣更けて砧かな
九二三 雁鳴いて月靜けさの砧かな
九二四 遊砧旅寢の夢の醒め易き
九二五 賣る物がなくて賣りたる砧哉
九二六 山峡の夜雨面白や砧宿
九二七 落人の胸に沁み入る砧かな
九二八 汐時に出船の灯や打砧
九二九 音譜を總れば砧冴ゆるかな
九三〇 圓い山々低く砧寂びしうす
九三一 騒擾の世を外にして砧かな
九三二 愛し兒の旅の晴れ衣砧して
九三三 砧更けて河たゞ澱う流れけり
九三四 買うた夜の病騒がしき砧かな
九三五 まだ母の力嬉しき砧かな
九三六 隣家や或夜ひそかにころ打つ
九三七 砧聲きえてあめつちの愛に涙ゆたかなれ
九三八 月冴ゆる一村砧しきり打つ
九三九 夜のふけて白く閉ゆる砧かな
九四〇 砧打つて女まぼろし郷里の里
九四一 砧聞く夜半の砧や窓や肱枕
九四二 遠近う風におさゝる里砧

書畫絹用　京染吳服商　たまや出張店　京城明治町二　電話一二九六

九四三 砧の音一入響く片田舍
九四四 砧の音漸く止むや夜半の露
九四五 月あかり讀書にふける砧かな
九四六 雁音や夜露をふみて砧哉
九四七 山彦す砧の音や五戸の村
九四八 夜風に途切れ／＼の遠砧
九四九 百歳の母も無病の砧かな
九五〇 病む子にも心して打つ砧かな
九五一 明月り物音秋めく砧かな
九五二 小城下も秋知り顔に砧哉
九五三 小夜砧心に音の沁む身かな
九五四 裂の娘よ衣を破るな小夜砧
九五五 風にもならず月夜や遠砧
九五六 月の夜を晉楚に續く砧かな
九五七 一歸詠さも途切て砧更けるなり
九五八 風吹くさゞれ／＼の砧かな
九五九 病床や惡夢の砧の偲ばるゝ
九六〇 曉の砧や村の孝女かな
九六一 貞操の砧病む子に亂れ勝
九六二 夢淡き旅のふすまや遠砧
九六三 對岸の砧枕頭の蟲更けぬ
九六四 四十にして家なき秋や遠砧
九六五 三千のいらか更けたる砧かな
九六六 雨雲の消に行く空や遠砧
九六七 灯の漏るゝ孤家の砧や星月夜
九六八 病床の枕に響く遠砧
九六九 讀み飽いた拍子に聞ゆ遠砧
九七〇 殘程を急ぐ驛馬や遠砧
九七一 天心に響く砧の月明し
九七二 村端れ鳥居くゞれば砧かな
九七三 昔より打方を崩さぬ砧かな
九七四 嫁姑調子揃うて打つ砧
九七五 漢江の水に打ち込む砧かな
九七六 亡き妻を偲ぶ霜夜の砧かな
九七七 覺め勝ちの旅路の夢や遠砧
九七八 巻き返し又打ち出す砧かな
九七九 まどろみのうつゝに聞くや遠砧
九八〇 妻逝きて子を抱き寢るや遠砧
九八一 病床に母の疲れや遠砧
九八二 向ひ合ふ顏相似たり砧打つ
九八三 村人の砧豐かに響きけり

日報歌壇

懷ろ手して　口 名草濱路(永登浦)

懷ろ手風に吹かれて秋草の襞なす丘をのぼるなりけり
雨もよひ草ひさゝきはざわめきてわが憂鬱にかげりたるかも
秋草のかぎらふなべにうづくまり世に淋しらのまなざしつくる
天の原ふりさけ見つゝ東路の丸の人をしぬびけるかも
秋淋し野中の家にはれ釣瓶沒むむ君の面影に立つ
これやしの面やつれせしうつし身の君の姿が秋草の花
夕靡き草のかげりに身をひそめたと遠く夜を眠る心
たそがるゝ傍にいつしかうそ寒き時雨に襟をしめらせにけり
夕まけて雨に濡れつゝ丘を越す白衣の人もうら淋しけれ
通り雨すぎなる後の秋草に蛩つくろひて蟲啼き出でつ

口 美沙曲てふじ(京城)

凄まじく吹きし嵐もほのぼのと夜明くるなべになごみけるかな
明け近く嵐は稍になごみけりすなはち雨戸を繰りにけるかも
痛ましくよべの暴風雨に倒れたる樹々をし見つゝ巷路ゆくも
遠ざかる陸の灯見つゝ甲板に倚りて踊らふ船客の群れ
陸の灯も見えなくなりぬ人々は艙てケビンに入りゆけるかも
さむぐと船舷を打つ浪の音聽つゝきゐる眞夜のケビンに

口 松花(城野)

おほごかに搖れつゝ船は浪さわぐ眞夜の荒海ひた走るなり
朝霧は働く鑛山を降りこめて試錐の櫓浮びて立つ
今日はしも田舍廻りの寫眞師のカメラに立てり朝鮮の家
ハンマーを手に持ち手拭まきつけて坑夫の姿カメラに立てり
さはやかに心の動く様を見き其のたまゆらに我れさられき
斯く云へばたゞにうべなひ斯く說けばそれに從ふ君を悲しむ
我が生くる空氣さながら我が呼吸をはごむが如く慰ぜ生くる

新刊紹介

▲幸福者(武者小路實篤著) 著者獨得の詩筆にて「幸福者」一篇を草す、全篇に淸新の氣溢る近頃の快著なり(一圓、東京牛込神樂町二の一一叢文閣)

▲飛行少年(五の一〇) 航空界のこと及び其他勇壯なる少年雜誌にて懸賞募集もあり(二十三錢、東京々橋區木挽町二の一日本飛行研究會)

▲演藝講談界(三の一〇) 名流の小說講談を多數に集めたる面白き讀物にて演藝記事も亦豐富なり(四十錢、東京牛込東五軒町一〇共社)

▲復習と試驗(一の七) 小中學校受驗用の雜誌にして新案の誌上試驗あり(二十錢東京牛込矢來四南光社)

▲ポケット少年(一の五) 安價にして讀み手でのある面白き少年雜誌(十五錢、東京々橋區木挽町一〇育文館)

▲人格と幸福(九月號) 九錢京都市祇園萬壽小路明市修養會

▲ジヤパンタイムス少年號(六) 十七錢東京日比谷公園前ジヤパンタイムス學生號出版社

▲木太刀(九) 武拾五錢東京牛込區築地十二木太刀社

▲現代の歌謠(四) 武拾錢東京小石川區小日向水道町十五第一出版社

▲朝鮮佛敎叢敎(一七) 本多日生師を初め朝鮮名僧其他の筆に成る宗敎上の有益なる法話、修養談を掲ぐ(十錢、京城壽松洞八二の三十本山聯合事務所)

▲敎育時論(一二四〇) 拾五錢東京市麴町區飯田町四開發社

▲開發評論(九) 二拾五錢東京市神田區錦町一開發評論社

▲嗜好(九) 六錢東京市京橋區銀座二株式會社明治屋東京支店

▲圍碁虎之卷(九) 二十五錢東京市麻布區富士見町日本社

▲平和(二) 二十五錢東京市本所區橫網町一平和社

▲商と工(九) 三十錢東京市京橋區南紺屋町商工社

▲市町村雜誌(三〇) 拾七錢東京市芝區田村町六市町村雜誌社

▲東洋時報(二五二) 五十錢東京市麻布區山下町一東洋協會

▲日本魂(十) 二十五錢東京市京橋區南傳馬町日本魂社

▲朝鮮遞信協會雜誌(二十一) 拾武錢京城光化門通遞信局內朝鮮遞信協會

▲隨觀集(一七九) 五十錢東京市麻布區仲之町十一隨觀吟社

▲海外(五三) 二十錢東京市麴町區五海外社

▲實業公論(九) 三十錢東京市牛込區辨天町四實業公論社

▲電氣旬報(一八六) 六錢大阪市北區若松町二六世界社

▲靑島商報(八) 二十錢靑島所澤町一靑島商報社

▲護敎(三三) 八錢東京赤阪區青山南町五護敎社

▲千代田(八) 二十五錢東京神田區橋本町三丁目千代田社

▲報德(九) 八錢鹿兒島市山下町鹿兒島市報德會事務所

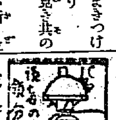
▲簿記世界(八) 二十錢東京市神田區美土代町大原簿記學校內簿記學研究會

▲日本の關門(四八) 廿五錢下關市大字東南部町四七醉社出版部

▲みなし兒(中內蝶二著) 斗は事實談なりといへる此の書は淸朝の復辟を企つる實那名士と更に主人公の植物學者の若き華族と更に主人公の可憐なる少女を巴の如く滿中に活躍せしめたる物語なり。女探偵、人質、惧無、監禁、惡魔其他數卷に亘る劍と著者の流麗なる筆は四百十餘頁の全紙に如何にも纏綿として讀者の興を惹く(一圓二十錢、東京本郷駒坂下)

▲ツーリスト(七の五) 贅澤なる旅行雜誌にして名士の執筆に成る趣味ある記事多く英文もあり(四十錢東京ジヤパンツーリスト、ビユーロー)

▲活動畫報(三の一〇) 泰西物を主としたる活動寫眞の專門雜誌にして泰米の面白き新界の狀況の寫眞を多く挿入して解す(四十五錢、東京々橋區本八丁堀二の一正光社)



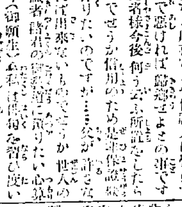
▲私はヘチマをたくさん作りヘチマの水もたくさん取りました、この水の久しく保てる法及使用法をお教へ下さい [illegible] 御存知の方は御教へ下さいませ(若き主婦)

▲南大門通り [illegible]

溝呂木六段評　將棋新手合(其二)

平手 先△(京城)岡本桂二郎(初段)　▲(京城)秋吉葛太郎(初段)　於京城旭町白水欽迎將棋會席上

圖は前號指了迄の局面　△岡本氏 持駒 なし



▲二六步(イ) ▲四四銀△四七金 (ロ)▲五五步△六七銀▲六五步 (ホ)▲五六步▲六六步△六五步 六五步打(へ)△五五銀△同銀 同角▲同角△同步▲八六步△六三 四步(ト)▲同金△五三角△六三 銀(チ)▲七一角ナル△五一飛△五四 金△七一角ナル△同金△同步▲同飛(以下次號)

溝呂木六段講評

△(イ)先手方二六步は惡し此處は三六步と突き高美濃に組む手段を探るべし
△(ロ)先手方四七金は三六步と突き着し後手方六五步なれば四七銀引くと指す方含みありて面白し
△(ホ)後手方六五步は早し一旦四二銀と玉の右側を堅固にし後六五步と挑戰する處なり
▲(へ)後手方五五步打ちは早し此處八六步、同步、六五步と打てば後に飛車の活動よし
△(ト)先手方は四步は五四步と指すべし
△(チ)先手方五四銀は惡し六四步と打つべし

淋丹(りんたん) 消渇病必治藥　如何なる難症も一週間にして必ず治癒す　廣告政策と誤解せず御試用あれ　京城吉野町一九一(電一五一六)　朝鮮一手販賣 永德商會

月やく　こまり　不順で御心配の人は返信料添へ申込まれよ　當院の專門學士が安全確實の流經妙藥を教ふ　實驗者は大喜び!　東京麴町區九段一九〇九番地　東京婦科院

李王職御用　總督府醫院御用　横濱 全乳　場主獸醫 肥塚正太　東亞牧場(電話五二番)

京城ニ自動車講習所開設　十月十五日開始　二ケ月卒業
▼全學資金百三十二圓(前納ス) ▼何人モ入學ガ出來ル ▼學資金ハ內地ニ遊學スル費ニ過ギヌ
五十年成功ノ秘決ハ職業ノ撰擇ニアル近キ世界ノ職業ハ自動車業デアル、世界共通デアツテ而モ收入多ク且待遇ノ好イモノハ自動車ノ技師、運轉手、販賣員デアル [illegible]

教授ノ方法ハ教科書ト實物トヲ對照シテ參考書ニ依リテ懇切丁寧ニ教授ス [illegible]

規則書ハ申込次第無代ニテ送呈ス [illegible]

東京自動車學校 京城講習所　京城府黃金町三丁目角　振替口座京城七一八八番

内容を公示し責任を明かにせる本邦唯一の ○ミツワ家庭藥

處方明記

一、處方を明記し內容を明かにす
如何なる藥品を如何なる分量で調合してあるか分らず、隨つて責任を明かにせぬ賣藥は、如何程効能を吹立てゝも決して安心して用ひられない。然るにミツワ家庭藥は其の處方を容器にも說明書にも明記して、內容の藥品の名稱と分量とを公示し、且其の奏効する理由を明瞭に說き、責任を明かにしてあるから安心して用ひられる。此の處方を公開する方法は本邦には未だ曾て無いことで、實にミツワ家庭藥を以て嚆矢とする。さりとて是さへあれば決して醫師を受けるに及ばぬと云ふが如き誇大なる賣藥では無い、要するにミツワ家庭藥は現代智識階級の要求に應ずる唯一の治病補助劑である

一、處方的確にして奏効顯著なり
同一の疾病に對しても處方は種々あるが、處方が的確でなければ能く効を奏する譯が無い、然るにミツワ家庭藥の處方は何れも斯道の專門家が現今學理上から考へても、實驗上からも研究に研究を重ねたもので、其の効驗は顯著なることは言ふまでもなく、易き種々の疾病に汎く應用されるやう、一ト通り除いて取揃へてあるから、家庭藥として是程行屆いたものは他に類が無い

一、製劑精確にして効力一定不變也
如何に純良の藥品を調合しても、其の製劑の方法が精確でなければ、藥品の性質が變り從て効力の一定せぬこいふ憂ひがある然るにミツワ家庭藥は豐富な經驗に富める藥學士數名の監督の下に、精確嚴密に製劑するのであるから、無責任なる製劑とは其の趣を異にし、製劑上の錯誤は勿論變質の虞は絕對て無く、其の効力は常に一定し居て、或は効き一向効かないといふやうな不安心のことが無い

一、藥品純良にして中毒の危險なし
名稱の同じ藥品でも上下の等級があつて、上等純良のものは効力が强く、而も嘔吐耳鳴等中毒作用が無い、然し下等不純のものは効力が弱く往々中毒の危險を伴ふ、又多くの藥品中には元來性質の劇烈のものもあるが、家庭藥に此の如き劇藥や不純の藥品を用ふると、較もすれば過失を生じ甚だ危險である、然るにミツワ家庭藥は純良で性質の劇烈ならぬ藥品を用ひてあるから、卓効があつて毫も危險が無い

一、容器完全にして變質の憂なし
假令處方が的確、製劑が精確、藥品が純良であつても、包にして置くと、藥劑は風化潮解して變質し無効有害となる、然るにミツワ家庭藥は容器に細心用ひて何れも完全にしてあるから、其の中の藥劑が空氣と化合したり濕氣を引いて溶解したりすることが無い、それに包裝が嚴重であるから、如何に酷暑の季節に於ても熱帶地方に在つても、其の中の藥劑が變敗する事がない、それと同時に外出や旅行のとき携帶するのに至極便利である

一、內服藥は錠劑にして服用し易し
總て藥劑には用ふる分量が定まつて居て、それよりも少ければ効驗が無く、又多過ぎれば危險がある、然るにミツワ家庭藥の中內服藥は總て錠劑に製してあつて、服用者の年齡に依り一回に用ふる錠數が定めてあるから、天秤で量る手數も無く、目分量で服むやうな不確實のこともなく、苦い辛いとか厭ふべき味も毫も感ぜず服めるので小兒にも用ひ易く、煎じて服むやうな面倒も無く、又場合によつて湯や水が無くても嚥み込むことが出來て甚だ簡便である

一、價格低廉して永く保存に耐ふ
ミツワ家庭藥は數日乃至數十日分を一罎に入れてあるから、一罎の價は稍高いやうに思はれても、一回分と計算すれば決して高くはない、何人でも處方に依つて調劑したなら、恐らく其の定價よりも以上の價になるであらう。而して一二回用ひ其の殘藥を保存して置けば、如何に永く月日が經ても性質も効力も變ることが無いから何時でも用ひられ、畢竟頗る經濟的の藥劑である。怪我してから又疾病に罹つてから藥を求めるのでは到底間に合はず、不慮の禍を招くことがあるが、斯く保存に耐ふるミツワ家庭藥を平生必ず備へ置旅行の際にも携帶して早速之を用ふるに限る

ミツワ家庭藥の種類と定價(內地以外は關稅運賃を加ふ)

品名	効能	容量・定價
ミツワ健胃錠	胃加答兒・胃酸過多・嘔吐胃痛等	卅錠入拾錢　百錠入貳拾錢　三百錠入五拾錢
ミツワ消化錠	總て消化を促すべき場合に用ふ	卅錠入拾五錢　百廿錠入五拾錢　三五〇錠入壹圓
ミツワ制酸錠	酒の過飲・惡醉・宿醉・惡心・嘔吐	百五十錠入貳拾錢
ミツワ緩下錠	諸病に因る便祕殊に常習便祕症	四十錠入拾錢　百廿錠入貳拾錢　三五〇錠入五拾錢
ミツワ止瀉錠	急性傳染病以外諸種の下痢	廿五錠入貳拾錢　六十錠入四拾錢
ミツワ解毒錠	腹・胃を防腐し腸胃病を豫防す	卅錠入貳拾錢　七十錠入四拾錢
ミツワ驅蟲錠	蛔・蟲等腸內寄生蟲驅除及豫防	廿五錠入貳拾錢　六十錠入四拾錢
ミツワ淸涼劑	口中淸凉・神身興奮・口中病豫防	紙盒入拾錢　罐入參拾錢
ミツワ解熱錠	感冒・レウマチス・神經痛等	卅錠入貳拾錢　百錠入七拾錢　三百錠入 [illegible]
ミツワ祛痰錠	氣管枝炎等呼吸器病一切の祛痰	卅錠入拾五錢　百錠入四拾錢　三百錠入貳 [illegible]
ミツワ鎭咳錠	百日咳・喘息・呼吸器病一切鎭咳	百錠入壹圓二十錢
ミツワ結核錠	結核性の諸症・肋膜炎・腹膜炎	百錠入貳圓
ミツワ人參錠	神經衰弱・腎臟炎・精力減退等	百錠入五拾錢　五百錠入貳圓
ミツワ複方人參錠	動脈硬化・腦溢血・心臟病等	百錠入七拾錢　五百錠入參圓
ミツワ鎭靜錠	頭痛・不眠・癲癇等の如き神經病	百錠入壹圓 [illegible]
ミツワ婦人湯藥	婦人生殖器病・貧血・所謂血の道	八十錠入五拾錢
ミツワ婦人座藥	白帶下・子宮內外膜炎・膣炎等	六個入五拾錢
ミツワ治淋藥	淋疾・膀胱加答兒・尿道加答兒等	カプセル五十個入壹圓 [illegible]
ミツワ淋病洗滌藥	淋毒性尿道炎一般に用ひらる	洗滌器附壜入五拾錢
ミツワ點眼液	總て眼瞼及び眼球の結膜の諸病	點眼器附壜入拾五錢
ミツワ鼻病液	鼻加答兒・鼻充血・臭鼻症・鼻血等	壜入參拾錢
ミツワ齒痛液	齲齒其他一切の齒痛に用ひらる	壜入貳拾錢
ミツワ含嗽錠	咽頭炎及び口中一切の病の洗藥	百五十錠入參拾錢
ミツワ硼酸錠	眼病・婦人生殖器病の消炎防腐	百五十錠入貳拾五錢
ミツワ鎭痛液	打撲傷・神經痛・レウマチス等	壜入四拾錢
ミツワ螫蟲液	蟻蚊等總て蟲に螫されたる場合	壜入貳拾錢　大壜入五拾錢
ミツワ發毛液	脫毛雲脂多過を防ぐに用ひらる	壜入五拾錢
ミツワ腋臭藥	腋臭・會陰臭・手汗・足汗等	壜入參拾錢
ミツワ撒布藥	汗疹・多汗症・表皮剝脫皮膚糜爛	紙盒入拾錢　大盒入貳拾錢
ミツワ泥膏	火傷・濕疹・毛瘡・擦過傷等	硝子器入拾錢
ミツワ制痒膏	濕疹・皮膚瘙痒症・火傷・汗疹等	硝子器入貳拾錢
ミツワ痤瘡膏	痤瘡・酒皶鼻・毛瘡・白癬・疥癬	硝子器入貳拾錢
ミツワ頑癬膏	頑癬殊に陰囊癬・白癬・濕疹等	硝子器入貳拾錢
ミツワ凍瘡藥	凍瘡・皮膚龜裂・皮膚皸裂・水蟲	硝子器入貳拾錢
ミツワ痔坐藥	痔核・痔瘻・肛門裂瘡等痔一切	六個入四拾錢

醫學士 小山田課編　家庭治療法　四六版本製 二百三十頁
本書は疾病の原因や症狀などを平易に說き、家庭にて施し得る療法を丁寧に敎へたもので、醫師にかかるまでの親切な相談相手である。定價金五十錢。但金卅五錢(郵券代用不苦)を添へ申込あれば一冊送呈す。

ミツワ石鹼　ミツワ椿油　ミツワ家庭藥　ミツワ人參葡萄酒　ミツワ規那鐵葡萄酒　肝油ドロツプス　御園化粧品　發賣元
東京市日本橋區濱町四丁目　藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物卸
登錄商號 丸見屋商店
電信略號○ミヤ　振替口座東京七一〇番　營業部電話特長 浪花三〇・四四八・四四九・四四〇